

平成30年度 特別養護老人ホーム多喜の園事業報告

1. 施設の概要

(1) 施設種別 [介護老人福祉施設] 特別養護老人ホーム多喜の園

(2) 事業目的 入所者が可能な限りその居宅における生活に復帰できることを念頭に置いて、施設が入所者に対し、入浴、排泄、食事等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行うことにより、入所者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにすることを目的とする。

(3) 所在地 浜松市浜北区中瀬3829番地の1

(4) 開設 平成4年4月17日

(5) 定員 45名 短期生活介護 25名

(6) 職員配置状況

平成31年3月31日現在

特別養護老人ホーム多喜の園					
職 種	国基準	現 員	管理栄養士 (1名 栄養士)	1	1
施設長	1	1	介 助 員	0	0
事務員	1	4	嘱 託 医	1	2 (2)
生活相談員	2	2	調 理 員	4	10 (1)
寮 母	24	28 (4)	宿 直 員		3 (3)
看 護 師	3	4 (1)	計	38	56 (11)

() 非常勤再掲

※現員寮母数は、ショート寮母を含む。

2. 利用者の概要

(1) 年齢階層別状況

平成31年3月31日現在

	現 員	最高年齢	最低年齢	平均年齢	全体年齢
男 性	9人	95歳	70歳	87.0歳	87.7歳
女 性	36人	101歳	75歳	88.4歳	

(人)

年 令		60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳
人 員	男	0	0	1	2	0
	女	0	0	0	2	8
年 令		85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合 計
人 員	男	4	1	1	0	9
	女	5	17	3	1	36

(2) 精神状況

(人)

項目	正常	精神障 害あり	うち 認知	項目別認知症状況	軽度	中度	重度	計
				記 憶 障 害	0	2	35	37
人数	0	45	38	失 見 当	0	4	33	37

(3) 在所期間

(人)

	1年未満	1～3	3～5	5～10	10年以上	計	一人あたりの平均在所期間
男	3	6	1	0	0	10	2.9年
女	8	11	7	5	4	35	3.3年
計	11	17	8	5	4	45	3.3年

(4) 入所前の居所

(人)

自宅	40
他の老人福祉施設	0
他の社会福祉施設	0
医療施設	5
老人保健施設	0
その他	0
計	45

(5) 身体障害者手帳

(人)

1級	1
2級	4
3級	2
4級	0
5級	0
6級	0
計	7

(6) 実施機関別

(人)

浜松市	磐田市	掛川市	袋井市	森町	合計
41人	2人	0人	1人	1人	45人

(7) 入所者介護度一覧表

介護度	1	2	3	4	5
全体	0人	1人	9人	14人	21人
男性	0人	0人	5人	2人	3人
女性	0人	1人	4人	13人	18人

介護度 平均 4.20

3. 生活指導

(1) 排泄

- ①オムツ使用者には、個人のプライバシー保護の為カーテンを使用し、皮膚の観察を常に行った。
 ②トイレ使用者には、使用方法によるマナーの徹底。
 ③トイレ誘導者には、残存機能を生かし安全性を考慮した介助を心掛ける。以上を目標としてきたが、園生の高齢化によるADL低下の為、目標に及ばない点もあった。今後もこれらの事を守るように皆でがんばっていきたい。今後も随時トイレ介助、オムツ交換に対応できるよう気配りしていく。

(人)

	自立	日中トイレ誘導介助 夜間オムツ使用	ポータブル 全介助	昼夜オムツ使用	計
男	3	2	0	5	10
女	3	2	1	29	35
計	6	4	1	34	45

(2) 入浴

毎週月曜・火曜・木曜・金曜の午前中は特浴、一般浴は月曜・木曜の特浴の後になり、ゆったり入浴できるよう心掛けた。

機械浴者が8割弱をしめている為、特浴日を週4日間として、利用者が明るく楽しく、清潔で安全な入浴環境でリラックスして入浴していただけるよう努めた。

入浴

(人)

	自力	半介助	全介助	計
男	0	5	5	10
女	0	6	29	35
計	0	11	34	45

着脱

(人)

	自力	半介助	全介助	計
男	0	5	5	10
女	0	6	29	35
計	0	11	34	45

入浴形態

(人)

	一般浴槽	中間浴	特浴	計
男	2	0	8	10
女	4	0	31	35
計	6	0	39	45

※中間浴の設備なし

※湿疹等が入浴することにより改善される場合、
 入浴日以外の入浴を随時勧めている。また、
 足部の状態により随時足浴も行っている。

夜間入浴実施状況

0人

(3) 離床

全員離床を基本とし、日常生活や行事、クラブ活動等への参加を促し、体調を考慮したうえで利用者 の ADL 低下を防止できるよう努めた。
 車椅子移乗時は、利用者の残存機能を使い、ケガや負担をかけることのないよう留意した。また、安楽な姿勢を保つことができるよう、体交枕等で工夫した。寝たきり気味になっている方については、体調を考慮しながら離床し、気分転換を図ることができた。離床することで、ADL の維持、日常生活にメリハリをつけることができたと思われる。

移動状況

(人)

	自力歩行	歩行器	車椅子自走	車椅子介助	リクライニング	計
男	3	1	1	0	5	10
女	3	0	4	1	27	35
計	6	1	5	1	32	45

(4) 食事

今年度も外食会食や夏祭りでの露店巡りなど、好きな物を選んで食べることにより食事をする楽しさを感じる事が出来たと考えている。外食会食では、職員も一緒になって和やかに食事をすることができた。

おやつ作りでは、月に1～2回入所者の好みの物や、季節の物を作り、会話をしながら楽しくいただくことができた。

食事面では、全員離床を基本とし、全介助者の残存機能を出来るだけ活用すること、半介助者が少しでも自力摂取できるよう心掛けてきた。誤嚥の恐れがある入所者には確実に付き添い、食事に時間がかかる入所者も安心して食事を摂ることができるよう、食事時間にも配慮した。身体状態に合わせた自助具を用いるなどの対応も行った。

体調不良で食欲のない方には補助食や本人が希望する物を用意するなどして対応してきた。また、ムース食を取り入れ、むせ、誤嚥を防ぎ、確実に食事が摂れるよう取り組んでいる。

食事前の時間等にレクリエーションやラジオ体操を取り入れ、楽しみながら、身体に良いことができるよう配慮している。

食事状況

服薬状況

(人)

(人)

	自力	見守り 半介助	全介助	経管栄養	計
男	0	6	4	0	10
女	6	4	22	3	35
計	6	10	26	3	45

	自力	半介助	全介助	経管栄養	計
男	0	0	10	0	10
女	0	0	32	3	35
計	0	0	42	3	45

主食

(人)

	パン	普通	軟らか	か ゆ	経管栄養	ム ー ス 食	濃厚プリン	計
朝	3	3	0	3 4	4	0	1	4 5
昼	0	2	2	1 3	4	1 8	6	4 5
夕	0	2	2	1 3	4	9	1 5	4 5

副食

(人)

	普 通	バナナ	きざみ	超きざみ	経管栄養	ム ー ス 食	計
朝	0	2	5	0	4	4	4 5
昼	0	0	1 0	2	4	9	4 5
夕	0	0	1 0	2	4	1 1	4 5

その他

(5) 体位交換

体位交換必要者 (人)

男	6
女	2 9
計	3 5

エアーマット使用者 (人)

男	3
女	2 0
計	2 3

体位交換時間

1.	4 : 3 0	排泄処遇	左側臥位
2.	7 : 0 0	朝 食 後	仰 臥 位
3.	9 : 0 0	排泄処遇	右側臥位
4.	1 1 : 0 0	排泄処遇	仰 臥 位
5.	1 3 : 3 0	排泄処遇	左側臥位
6.	1 6 : 0 0	排泄処遇	右側臥位
7.	18:30~19:00	夕 食 後	仰 臥 位
8.	2 1 : 0 0	排泄処遇	左側臥位
9.	2 3 : 0 0	排泄処遇	右側臥位
1 0.	1 : 3 0	排泄処遇	仰 臥 位

*健康状態を考慮して行う

体位交換

(人)

	自 力	全介助	計
男	5	5	10
女	5	30	35
計	10	35	45

褥瘡状況

(人)

	重	中	軽	計
男	0	0	0	0
女	0	0	0	0
計	0	0	0	0

(6) 衛生

衛生検査…毎週土・日は衛生検査の日として、手、足の爪切りと耳掃除等を行いました。また、行った入所者がわかるように色分けをしチェック表に記入しました。

整 容…常に清潔感を感じてもらえるように、職員による散髪を行い、気を配りました。

口腔ケア…食後の歯磨き、うがいを行い、重度者に対しては、口腔用綿棒で口腔内を清拭します。昼食後は、義歯を預かり、一人一人綺麗に洗い本人に返しています。又、毎日の夕食後、義歯を預かり一晩ポリドントによる消毒の実施をする事で感染などを防いでいます。

洗 面…毎朝起床時、自分でできる入所者は洗面所へ誘導する。自分で出来ない方には、クリーンコットン、アイコットン、おしぼり等を使用し清潔に気を配りました。

布団干し…水曜日のシーツ交換に合わせて出来る限り日光に当て、気持ちよい睡眠が取れるように配慮しました。和室は、清潔面や予防を兼ねて、定期的に消毒を行いました。

加湿器…寒い季節、部屋の乾燥を防ぎ、風邪や感染予防の為、室温に充分気配りをしました。

感染対策…特に感染症が流行する時期を重点に、モップでの清掃後、アルウェッティやソフライト、ピューラックスを用いての床・手すり等の消毒を行いました。

(7) 美化

入所者が現在の生活をより明るく楽しく過ごせるように心掛け、思い出せるよう懐かしいメロディーを流し、季節を感じて、思い出していただけるように実施しました。

毎月の誕生者は毎回、前もって提示し、四季のイラストなどで季節を感じることができるよう工夫しています。

日常的には、フローア、居室等の整理整頓に努め、快適な居住空間を整えると共に、四季の草花や利用者が図工クラブで制作したぬり絵の作品、はり絵で作った大型カレンダーを飾り、楽しい雰囲気になるよう工夫しています。

4. 余暇行事活動

(1) 年間行事

4月	お花見	機能回復訓練広場の桜並木へ 体調不良者を除き、全員参加を目指しました。
5月	行楽	森林公園へ行楽の予定をしていましたが、悪天候と体調不良者多数の為、実行できませんでした。天候が良い時に施設から外へ出て外気浴を行いました。
6月	行楽	施設から外へ出て外気浴。
7月	七夕	願い事を書いて笹の葉につるし短冊をイメージした3色ゼリーをいただきました。
8月	夏祭り	ボランティアによる日舞や、露店巡りを行いました。また、手踊りやおみこしをかつぎました。
9月	敬老会	ご家族に参加していただき和やかな式が開かれました。職員によるチンドン屋で盛り上がりました。
10月	運動会	玉入れ、大玉ボール送り、リハビリ体操を皆で楽しみました。
11月	行楽	誕生者を中心に、紅葉を見ながらの散歩を行いました。
12月	クリスマス会	ボランティアによる様々な出し物と職員による寸劇で楽しいひとときを過ごしました。
1月	初詣	ボランティアの方と、近くの神社まで行きました。
2月	節分	鬼にみんなで豆の代わりに卵ボーロを投げつけやさしく退治し、その後茶話会を行いました。
3月	ひな祭り	おひな様を囲んで唄を歌ったり、写真撮影をしたりしました。茶話会では甘酒をいただきました。

(2) クラブ活動

① 図画工作クラブ

月	実施回数	参加者数	実施内容
4	15	8	こいのぼりの貼り絵
5	15	7	あじさい、かたつむりなどの塗り絵や貼り絵
6	10	7	朝顔の貼り絵
7	11	8	七夕飾りと夏祭りのポスターの貼り絵
8	10	8	菊の花の貼り絵と塗り絵
9	17	8	敬老会に向けての貼り絵
10	17	8	秋の風景の貼り絵
11	14	8	クリスマス会に向けての貼り絵、お花作り
12	17	8	サンタクロースの貼り絵、折り紙を使った飾り作り
1	18	8	節分（赤鬼、青鬼）の貼り絵
2	15	9	ひな人形の貼り絵
3	10	8	桜の貼り絵、塗り絵

利用者の方々に楽しく参加していただくよう、季節にあった絵柄を用意しました。

みなさん集中しながら楽しく取り組み、一人一人個性の豊かな作品を制作する事が出来ました。1年を通し行った塗り絵の作品を、個々に1冊の冊子にまとめたことで、記録に残るものとなりました。パズルでは真剣に取り組んでいただきました。また利用者同士の会話も見られました。

3大行事の時などに、実習生と共に貼り絵や塗り絵を楽しんでいました。どのような配色にするか相談しながら、和やかな雰囲気で行うことができました。また、職員とともに、紙花作りにも参加していただきました。

②運動クラブ

月	実施回数	参加者数	実 施 内 容
4	10	14	散歩、標的、魚釣り
5	10	16	輪投げ、ボール遊び、散歩、ビーチボール
6	9	14	ビーチボール、輪投げ、散歩
7	10	13	魚釣り、ビーチボール、もぐらたたき、塗り絵、貼り絵
8	8	15	ビーチボール、輪投げ、魚釣り、はり絵、塗り絵
9	10	14	輪投げ、ボール遊び、玉入れ、もぐら叩き
10	12	14	輪投げ、散歩、パズル、玉入れ
11	13	13	輪投げ、散歩、魚釣り、標的、トランプ
12	11	14	トランプ、輪投げ、魚釣り、標的、カルタ
1	10	16	魚釣り、輪投げ、ボール遊び、トランプ、カルタ
2	12	11	輪投げ、カルタ、もぐらたたき、パズル、標的
3	10	12	ボーリング、魚釣り、標的、散歩

春秋、天気の良い日は外気浴を兼ねた散歩（ボランティアの方たちの協力もいただき）、室内では残存機能の維持、参加者間のコミュニケーションづくりに重点を置いたクラブになるよう工夫し、援助しました。リハビリを兼ね、午後のラジオ体操に力を入れています

③音楽クラブ

月	実施回数	参加者数	実施内容
4	9	12	散歩を兼ねて、桜の下でボランティアの方たちと歌いました
5	10	11	夏祭りに向け踊りを練習しました
6	9	13	散歩を兼ねてボランティアの方たちと歌いました
7	11	12	空の下でボランティアの方たちと楽器を使い歌いました
8	12	14	夏の曲を、楽器を使い歌いました
9	12	12	楽器を使い歌いました
10	10	13	散歩を兼ねて紅葉を見に行きました
11	18	15	ボランティアの方たちと楽器を使って唄いました
12	15	14	クリスマスの歌をカセットテープで流しみんなで唄いました
1	15	15	お正月の歌をボランティアの方と唄いました
2	9	10	懐メロをボランティアの方たちと皆で大きな声で唄いました
3	9	11	歌詞カードを見て手拍子を取りながら唄いました

楽器を持って唄う人に合わせて音を出してもらう等、賑やかな雰囲気作りに心掛けました。ボランティアの方たちの来園時には、一緒に唄う楽しみも増えたように思います。楽器等を使用して手先の残存機能の維持や手遊び歌を歌い、肩たたき等取り入れていただき、訓練にも効果が大きかったようです。

(3) 誕生会

4月	誕生者1名	ハッピーバースデーを唄い、お花見に出掛けました。
5月	誕生者3名	誕生者紹介後、歌を唄い、水ようかんで茶話会を行いました。
6月	誕生者2名	誕生者紹介後、フルーチェを頂きました。
7月	誕生者4名	七夕を兼ねて、短冊飾りつけ、季節の歌を唄い、牛乳かんをいただきました。
8月	誕生者2名	誕生者紹介後、皆でゲームをし、その後茶話。
9月	誕生者5名	ハッピーバースデーの唄を唄い、チームに別れて玉入れゲームを行いました。
10月	誕生者8名	誕生者紹介後、茶話会でかぼちゃのプリンを頂きました。
11月	誕生者3名	誕生者紹介後、茶話会を行いました。
12月	誕生者4名	誕生者紹介後、茶話会でいちごのムースを頂きました。
1月	誕生者1名	新入所者の紹介後、カルタゲームや福笑いを行いました。
2月	誕生者6名	誕生者紹介後、茶話会で水羊羹を頂きました。
3月	誕生者6名	ハッピーバースデーの歌を歌った後、春の歌を歌い、その後茶話会を行いました。

○外食会食

月	参加人数	摘 要
4	10人	酔留で出前（天津飯）
5	10人	納涼亭で出前（うなぎ）
6	10人	酔留で出前（冷やし中華）
7	9人	納涼亭で出前（うなぎ）
8	8人	酔留で出前（天津飯）
9	7人	納涼亭で出前（うなぎ）
10	7人	盛寿司で出前（ちらし）
11	8人	酔留で出前（天津飯）
12	7人	納涼亭で出前（うなぎ）
1	0人	インフルエンザ流行のため中止
2	0人	インフルエンザ流行のため中止
3	7人	酔留で出前（天津飯）
計	79人	

季節感を感じられるような出前をとり、食事で季節を味わっていただきました。

5. 健康管理

(1) 入所者の健康管理

毎日の健康チェック、年2回の健康診断、月4回の診療所管理医による健康診断により内科的慢性疾患にて45名(男10名、女35名)が診察、4～6ヶ月に1回胃ろうチューブ交換に2名が通院しています。また、精神科医による診察を月2回(火曜)20名が受けています。

週間スケジュール

曜日	午 前	午 後
月	処置(点眼、湿布、包交) 口腔ケア 入浴介助 1ヶ月1回体重測定	処置(点眼、湿布、包交) 入所利用者、ショートステイ入浴介助
火	処置(d o) 診察準備 口腔ケア 入浴介助(入所利用者特浴)、一般浴	処置(点眼、湿布、包交) 服薬整理 内科医による回診 精神科医による回診(月2回)
水	処置(d o) 口腔ケア	処置(点眼、湿布、包交)
木	処置(点眼、湿布、包交) 口腔ケア 入浴介助	処置(d o)、内科医による回診 診察 歯科医師によるメンテナンス(第1, 2) 入所利用者、ショートステイ入浴介助
金	処置(d o) 血圧測定 口腔ケア 入浴介助(入所利用者特浴・一般浴)	フォーレ交換(第1, 3) Mチューブ交換(月1回) カルテ整理 服薬整理 内科医による回診
土	処置(点眼、湿布、包交) 口腔ケア	処置(d o) 衛生材料作り 消毒

(2) 定期の健康診断

(a) 実施日

4月、10月

(b) 実施項目

- ①体重、血圧測定
- ②尿検査(蛋白、潜血)
- ③血液検査(4月 10月)
- ④N式精神機能検査(必要時)
- ⑤胸部レントゲン(10月のみ)
- ⑥心電図(10月のみ)
- ⑦日常生活活動能力評価表(4月 10月)

疾病状況

平成31年3月31日現在 (人)

	人数	現員との割合 %
1 高血圧	12	26
2 心臓病 (不整脈、狭心症)	34	75
3 呼吸系疾患 (気管支炎、喘息)	7	15
4 胃腸病	8	17
5 便秘症	35	77
6 糖尿病	13	28
7 肝臓病	1	2
8 腎臓病	1	2
9 脳卒中	22	48
10 皮膚及び皮膚組織の疾患 (皮膚炎、疥癬等)	20	44
11 外傷 (骨折を含む)	1	2
12 リューマチ、関節炎、神経痛、腰痛、痛風	10	22
13 眼科系疾患	2	4
14 悪性新生物	0	0
15 精神神経疾患	11	24
16 泌尿、生殖器系疾患	9	20
17 血液及び造血器の疾患 (貧血等)	2	4
18 感染症 (肺炎、結核、緑膿菌、MRSA等)	2	4
19 認知症候群 (アルツハイマー、脳血管性、レビー)	35	77
20 嚥下不全	3	6
21 不眠症	11	24
22 逆流性食道炎	15	33
23 下肢動脈閉塞症	0	0
24 てんかん	4	8
25 パーキンソン病	10	22
26 痔	0	0
27 褥瘡	0	0
28 胸部大動脈瘤	0	0
29 抑うつ状態 (不安、不眠)	21	46

通院、入院状況

(人)

	内科	歯科	眼科	※1	外科	整形	泌尿器科	婦人科	リハビリ	脳外科	耳鼻科	皮膚科	計	入院
4月	16	3	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	22	3
5月	13	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	16	5
6月	9	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	10	1
7月	10	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	12	1
8月	11	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	13	4
9月	5	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	7	0
10月	10	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	12	2
11月	9	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	12	3
12月	13	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	15	2
1月	13	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1	16	1
2月	6	1	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1	11	0
3月	11	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	3	17	0

※1：胃ろうチューブ交換・NGチューブ交換

医療的ケアを必要とする入所者の状況

	人数	現員との割合 %
1 尿路留置カテーテルの者	2	4
2 中心静脈留置カテーテルの者	0	0
3 鼻腔栄養の者	1	2
4 酸素吸入の者	0	0
5 吸引器による喀痰除去が必要な者	1	2
6 気管切開をしている者	0	0
7 胃ろう造設者	1	2
8 腎ろう造設者	0	0

(3) 利用率

4月	1,298人	96.1%	8月	1,359人	97.4%	12月	1,380人	98.9%
5月	1,310人	93.9%	9月	1,340人	99.2%	1月	1,335人	95.6%
6月	1,320人	97.8%	10月	1,350人	96.7%	2月	1,207人	95.7%
7月	1,387人	99.4%	11月	1,298人	96.1%	3月	1,320人	94.6%

平均96.82%

入所時の精神状況（1～12は重複回答）

種 別	人数	現員との割合 %
1 幻覚、妄想がある。	18	40
2 騒いで他人に迷惑をかける。	8	17
3 戸外を徘徊し、戻れなくなってしまう。	1	2
4 何でも口に入れる。	2	4
5 むやみに暴力をふるう。	2	4
6 自殺企図がある。	0	0
7 不潔行為をする。	7	15
8 異常な性行動におよぶ。	3	6
9 自他の所有の判断がつかない（窃盗行為をする）	3	6
10 不眠	12	26
11 うつ状態	5	11
12 その他	0	0
13 前1～12の行為、症状がない、或いは症状等が軽い人	10	22

(2) 職員の健康診断

(a) 雇用時の健康診断、定期の健康診断 (4/14~25)

- ① 既往症及び業務歴の調査
- ② 自覚症状及び他覚症状の有無の検査
- ③ 身長 (25才以下のみ)、体重、視力、色覚及び聴力 (オーディオメーター)
(35才と40才以上)
- ④ 胸部X線検査
- ⑤ 血圧の測定
- ⑥ 尿検査 (尿中の糖、蛋白の有無)
- ⑦ 貧血検査 (血色素量、赤血球数、白血球数)
- ⑧ 肝機能検査 (GOP、GPT、r-GPT) …全員
- ⑨ 血中脂質検査 (LDL-C、HDL-C、TG) …全員
- ⑩ 血糖検査
- ⑪ 心電図…35才と40才以上
- ⑫ 腰痛…4月と10月に実施

(b) 特定業務 (深夜業務) 従事者の健康診断 (4/14~25)

4月は定期の健康診断の項目を行い、10月は以下の検査を行う。

- ① 身長、体重検査 (身長は25才以下のみ)
- ② 血圧測定
- ③ 尿検査 (尿中の糖、蛋白の有無)
- ④ 腰痛

(c) 検便検査

給食職員毎月1回実施…6月~10月については毎月2回実施

6. 家庭との連携

家庭との関わりを維持していける様、夏期休暇や年末年始の帰省を事前に呼び掛け、家族も協力的に対応して頂けた。

誕生会に家族も参加して頂き、家庭的な雰囲気の中での交流をより多く持ちたいと考えています。

面会状況

	面会なし	年1~2回	2ヶ月に1回	月1回	月2~3回
人数	11	13	8	9	3
	週1回	週2~3回	合計	1日平均	年間総人数
人数	1	0	45	2.56人	934.4人

外泊状況

12回以上	~6回	~4回	~2回	1回	なし	平均外泊回数	総延べ人数	最多1人あたり
0	0	0	0	0	45	0	0	0

7. 地域との連携

浜北特別支援学校の職業体験学習が年間の行事の一つになり、ご利用者も心待ちする様になっています。今後も近隣の学校等と交流を持ちながら連携を深めていきたいと考えています。

ボランティア活動状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
えぷろんの会	8	8	7	2	7	0	7	5	4	0	8	8	64
幼稚園ボランティア													0
高校生ボランティア													0
小学生ボランティア													0
夏休みボランティア													0
トマトボランティア													0
その他													0
計	8	8	7	2	7	0	7	5	4	0	8	8	64

《1》 小学生————ふれあい交流
歌 踊り

《2》 高校生 夏休みボランティアスクール————クリスマス会
職業体験実習 レクリエーション

《3》 えぷろんの会、トマト————清掃 買物 行楽
散歩 シーツ交換
レクリエーション

実習受け入れ状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
浜北北部中学職業体験学習													0
教師体験実習													0
東海福祉専門学校													0
日本福祉大学													0
厚生連看護専門学校									16	15			31
浜松短期大学													0
修学舎高等学校					3	2			2	1	1		9
東海文化専門学校													0
同朋大学													0
聖隷介護専門学校													0
浜松特別支援学校	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	0	45
計	4	4	5	4	7	6	4	4	22	20	5	0	85

研修・会議状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
代表者会議	施設サービス評価基準について	ふれあい広場について	実習と行事予定について	夏祭りについて	総合防災訓練について	敬老会について
寮母会議	30年度行事各係説明 ケース担当について 新人教育係等	エアコンフィルター掃除 業務の確認 与薬の仕方	褥瘡予防について ストレスチェックについて	エアコンフィルター掃除 夏祭り会議 夏祭りについて	夏祭りの反省 及び敬老会について 来年度への改善点について	業務内容確認 エアコンフィルター掃除 ケア時のケガ・骨折防止 記録について
ケース会議	S. Kさん排泄等夜間の対応	M. Oさん右くるぶし潰瘍について	S. Oさん転倒予防	R. Tさんの対応について	Y. Oさん妄想の対応	嘔吐による誤嚥の対応について
給食会議	高齢者が喜ぶ食事について	水について	食中毒+老人と水分について	噛む力について	水分摂取の重要性について	糖尿病と自然食について
	10月	11月	12月	1月	2月	3月
代表者会議	総合防火訓練について	福祉サービスの自己評価について	来年度に向けての施設のあり方	事業計画の策定について	サービス評価の進捗	来年度の計画と実績報告について
寮母会議	眠前薬について 月木入浴日の対応 記録について	ケアプランについて 急変時の対応	エアコンフィルター掃除 クリスマス会について	連携について 感染症について	H30年度の事業について 食事介助の見守りについて	入浴（特浴の使い方）について 夜勤明けの業務について
ケース会議	K. Oさん不穏行動の対応について	H. Mさん糖尿病について	R. Tさんエスケープについて	Y. Kさん食事介助について	M. Nさん日中、夜間の対応について	ケアプラン
給食会議	高齢者の咀嚼障害について	嘔吐下痢について	肝臓病の食事療法について	動脈硬化症について	和食の良さについて	食品特有のヌルヌルの効果について

新しい利用者様が入所の都度、カンファレンスを開催している。
各委員会が行う勉強会に参加している。

9. 防災保安

多くの利用者に参加してもらう事で災害時の避難対応のイメージを体験してもらう事ができました。職員も訓練を繰り返す事で即座の対応ができるようになり、防災意識も高まりました。

訓練内容

	4月	5月	6月	7月	8月
訓練内容	避難訓練 (地震想定)	避難訓練 (夜間想定)	避難訓練 (搬送去)	避難訓練 (夜間想定)	避難訓練 (消火器)
9月	10月	11月	12月	1月	2月
総合防災訓練	避難訓練 (初期消火)	総合防火訓練	搬出、搬送訓練	避難訓練 (出火想定)	避難訓練 (地震想定)
3月					
避難訓練 (通報訓練)					

1. 日課

	月	火	水	木	金	土	日
4:30	おむつ交換、排泄処遇 洗面、起床 加湿器確認（11月～2月）						
6:00							
7:00							
7:30	朝食						
8:00	歯磨き、義歯処理、口腔清拭						
8:30	ラジオ体操、朝礼、自由時間						
9:00	オムツ交換、排泄処理						
9:30	特 浴 水分補給	特 浴	一般浴	特 浴	特 浴	一般浴、余暇、行事 クラブ活動 衛生検査 水分補給	
10:00		一般浴 水分補給	診 察 水分補給	診 察 水分補給	一般浴 水分補給		
10:40	おむつ交換、排泄処遇						
11:00	おむつ交換、排泄処遇						
11:30	自由時間						
11:45	自由時間						
12:30	自由時間						
13:30	自由時間						
14:00	おむつ交換 排泄処遇 ショートス テイ入浴	おむつ交換 排泄処遇	おむつ交換、排泄処遇 ショートステイ入浴		おむつ交換 排泄処遇	おむつ交換 排泄処遇	
14:30		おやつ 水分補給	おやつ 水分補給	余暇、行事 クラブ活動	おやつ 水分補給	おやつ 水分補給	おやつ 水分補給 衛生検査 自由時間
16:30	※ シ ー ツ 交 換 随 時						
18:00	自由時間						
18:30	自由時間						
19:15	自由時間						
19:30	水分補給、受薬、加湿器確認（11月～2月）						
20:00	おむつ交換、排泄処遇						
21:00	おむつ交換、排泄処遇						
23:00	消 灯						
0:00	おむつ確認、おむつ交換、排泄処遇						

※ Pトイレ介助、トイレ誘導は随時行う。

平成30年度短期入所者生活介護（ショートステイ）事業報告

1. 事業内容

(1) 目的

利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、事業者が利用者に対し、入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身の機能を維持し、利用者の家族の身体的、精神的負担の軽減を図ることを目的とする。

(2) 実施主体

介護保険法により、都道府県から指定居宅サービス事業者の指定を受けた事業者である事。

(3) 対象者

介護認定を受けている者であって、身体上又は精神上の障害がある為に家族等の介護を要して日常生活を営んでいる者である。

(4) 運営の方針

要介護(要支援)状態になった場合においても、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るものとする。

(5) 短期入所介護の定員

25名

(5) 利用料金

短期入所介護の提供に際し、負担する利用料金は原則として基本料金の1割です。(一定以上の所得のある方は2割となります。)但し、介護保険の給付の範囲を超えた部分のサービスについては全額負担となります。

①基本料金

(単位：1日)

要介護度	利用料 H27.8.1～
要支援 1	438 単位
要支援 2	539 単位
要介護 1	599 単位
要介護 2	666 単位
要介護 3	734 単位
要介護 4	801 単位
要介護 5	866 単位

②加算

- ・送迎加算 片道 184 単位 往復 368 単位
- ・看護体制加算Ⅰ 4 単位
- ・看護体制加算Ⅱ 8 単位
- ・サービス提供体制強化加算 6 単位
- ・介護職員処遇改善加算 1月の総単位数の 6.0%

③食材料費

1日 1,380円

《 朝食 330円 昼食 650円 夕食 400円 》

④滞在費

1日 370円 (H27.4～H27.7)

840円 (H27.8～)

平成30年度 多喜の園 ショートステイ月別利用者数
 ()内は前年度

	ショートステイ		
	利用実人員	利用延べ人員	1日当たり利用人数
4月	(45) 44人	(668) 663人	(22.2) 22.1人
5月	(39) 51	(730) 719	(23.5) 23.2
6月	(44) 39	(759) 691	(25.3) 23.0
7月	(44) 45	(756) 705	(22.7) 24.4
8月	(44) 41	(720) 682	(23.2) 22.0
9月	(42) 39	(692) 615	(23.0) 20.5
10月	(46) 46	(719) 661	(23.2) 21.3
11月	(42) 49	(662) 767	(22.1) 25.5
12月	(39) 44	(696) 749	(22.5) 24.2
1月	(44) 39	(704) 698	(22.7) 22.5
2月	(42) 38	(729) 545	(26.0) 19.5
3月	(44) 38	(719) 634	(23.2) 20.5
計	(515) 513人	(8,554) 8,129人	(23.4) 22.3人

今年度は、従来からご利用されている方々の入院や施設入所等があり、実人員は減少していますがご利用日数が増加傾向にあるのが特徴と言えます。緊急時の積極的な受け入れや医療ニーズの高い方、重度認知症の方等、各々のニーズに対応したサービス提供を心がけました。また利用したいと思っていただける事業所を目指し、今後も、より一層のサービスの充実に努めて参ります。

令和元年度 特別養護老人ホーム多喜の園事業報告

(ユニット型)

1. 施設の概要

- (1) 施設種別 [介護老人福祉施設] 特別養護老人ホーム多喜の園
- (2) 事業目的 入所者が可能な限りその居宅における生活に復帰できることを念頭に置いて、施設が入所者に対し、入浴、排泄、食事等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行うことにより、入所者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにすることを目的とする。
- (3) 所在地 浜松市浜北区中瀬3829番地の1
- (4) 開設 平成18年11月1日
- (5) 定員 入所30名 短期入所生活介護 10名

2. 利用者の概要

(1) 年齢階層別状況

令和2年3月31日現在

	現 員	最高年齢	最低年齢	平均年齢	全体年齢
男 性	6人	102才	76才	93.4才	88.5才
女 性	24人	96才	70才	87.6才	

(人)

年 令		60～64才	65～69才	70～74才	75～79才	80～84才
人 員	男	0	0	0	2	0
	女	0	0	0	1	6
年 令		85～89才	90～94才	95～99才	100才～	合 計
人 員	男	0	2	1	1	6
	女	6	6	5	0	24

(2) 在所期間

令和2年3月31日現在 (人)

	1年未満	1～3	3～5	5～10	10年以上	計	一人あたりの平均在所期間
男	3	1	2	0	0	6	2.2年
女	6	9	5	4	0	24	2.4年
計	9	10	7	4	0	30	2.4年

(3) 入所前の居所

(人)

自宅	27
他の老人福祉施設	
他の社会福祉施設	
医療施設	3
老人保健施設	
その他	
計	30

(4) 身体障害者手帳

(人)

1級	2
2級	1
3級	
4級	
5級	
6級	
計	3

(5) 実施機関別

令和2年3月31日現在 (人)

浜松市	磐田市	藤枝市	森 町	袋井市	掛川市	合計
26人	1人	1人	0人	0人	2人	30人

(6) 入所者介護度一覧表

令和2年3月31日現在

介護度	1	2	3	4	5
利用者 (名)	0	0	6	10	14
() 男	(0)	(0)	(1)	(1)	(4)

介護度 平均 4.27

3. 生活指導

(1) 排泄

排泄の介護にあたっては、入所者の気持ちを思いやり、できる限り自立した排泄行動がとれるように援助を行っている。運動機能障害のある入所者は、歩行器や車椅子の対応トイレにて、自然な姿勢で自立した排泄が気兼ねなくできるように環境を整え、認知症のある入所者には、尿意や便意のサインを見逃さないように気配りし、見守り又はトイレ誘導を行っている。

また、排泄障害の予防、早期発見、改善に努め、二次的障害への防止に対応し、きめ細かな介助を心がけている。

令和2年3月31日現在 (人)

		自立	日中トイレ誘導介助 夜間オムツ使用	昼夜トイレ 介助	ポータブル 全介助	昼夜オムツ使用	日中トイレ介助夜 間ポータブル介助	計
虹	男	0	1	0	0	1	0	2
	女	0	1	0	0	6	1	8
空	男	0	0	0	0	1	0	1
	女	0	0	0	0	8	1	9
星	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	1	2	1	0	4	3	10
計		1	4	1	0	20	5	30

(2) 入浴

事前にバイタルチェックを行い、入浴等の可否を判断して、入浴、シャワー浴、清拭により、状態に合った方法を選択している。自立、一部介助の入浴者は個浴を、全介助の入所者は機械浴を使用している。

入浴の介護では、できる限り本人の意思や習慣を尊重するとともに、できる動作は本人にしてい
ただき、入所者の自立を促している。特に安全性には十分な配慮をし、時間も余裕をもたせて、入
所者がゆっくりとリラックスして入浴を楽しんでいただけるように努めている。

令和2年3月31日現在

入浴

(人)

着脱

(人)

		自 力	半介助	全介助	計
虹	男	0	1	1	2
	女	0	2	6	8
空	男	0	0	1	1
	女	0	1	8	9
星	男	0	0	0	0
	女	1	4	5	10
計		1	8	21	30

		自 力	半介助	全介助	計
虹	男	0	1	1	2
	女	0	1	7	8
空	男	0	0	1	1
	女	0	1	8	9
星	男	0	0	0	0
	女	2	4	4	10
計		2	7	21	30

入浴形態

令和2年3月31日現在 (人)

		一般浴	中間浴	特 浴	計
虹	男	1	0	1	2
	女	2	0	6	8
空	男	0	0	1	1
	女	1	0	8	9
星	男	0	0	0	0
	女	5	0	5	10
計		9	0	21	30

※中間浴の設備なし

夜間入浴実施状況 0人

(3) 離床

朝の起床時間は、入所者の生活リズムやその日の体調を考慮して、対応している。昼間も基本的には入所者の自由で、居室にて休まれたりリビングでテレビ、団らん、趣味活動などをして過ごされたりしている。

移動状況

令和2年3月31日現在（人）

		自力車椅子	介助車椅子	自力歩行	歩行器	押し車	杖	計
虹	男	1	1	0	0	0	0	2
	女	0	7	1	0	0	0	8
空	男	0	1	0	0	0	0	1
	女	0	7	0	0	1	1	9
星	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	4	4	2	0	0	0	10
計		5	21	3	0	1	0	30

(4) 食事

毎食、ユニットごとに盛り付けし、配膳している。
 各入所者の咀嚼、嚥下機能に適した調理法のものや嗜好に合う献立を用意し、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくし、美味しく食べていただけるよう配慮している。
 また、自力で食べられるよう見守り、援助し、必要に応じて介助を行っている。食事時間も入所者の意思や体調に考慮して対応している。
 入所者の毎日の食事摂取量、飲水量を把握し、健康状態を見守りながら、豊かな食生活を提供できるよう心がけている。

食事状況

令和2年3月31日現在（人）

		自力	見守り	全介助	計
虹	男	1	0	1	2
	女	1	2	5	8
空	男	1	0	0	1
	女	1	1	7	9
星	男	0	0	0	0
	女	6	0	4	10
計		10	4	16	30

服薬状況

令和2年3月31日現在（人）

		自力	半介助	全介助	計
虹	男	0	0	2	2
	女	0	0	8	8
空	男	0	0	1	1
	女	0	0	9	9
星	男	0	0	0	0
	女	0	0	10	10
計		0	0	30	30

主食

令和2年3月31日現在（人）

		普通	軟らか	全粥	ムース	濃厚プリン	経管栄養	計
虹	男	0	0	1	1	0	0	2
	女	0	0	2	3	0	3	8
空	男	0	0	1	0	0	0	1
	女	0	1	0	0	3	5	9
星	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	3	3	0	4	0	10
計		0	4	7	4	7	8	30

副食

令和2年3月31日現在（人）

		普通	きざみ	超きざみ	ムース	濃厚プリン	経管栄養	計
虹	男	0	1	0	1	0	0	2
	女	0	0	1	4	0	3	8
空	男	0	0	0	1	0	0	1
	女	0	1	0	0	3	5	9
星	男	0	0	0	0	0	0	0
	女	0	4	1	1	4	0	10
計		0	6	2	7	7	8	30

(5) 体位交換

体位交換必要者 (人)

虹	男	1
	女	6
空	男	1
	女	8
星	男	0
	女	4
計		20

*健康状態を考慮して行う

昼間 臥床時は2時間ごと
夜間 2時間ごと

体位交換

(人)

		自力	全介助	計
虹	男	1	1	2
	女	2	6	8
空	男	0	1	1
	女	1	8	9
星	男	0	0	0
	女	6	4	10
計		10	20	30

褥瘡状況

(人)

		重	中	軽	計
虹	男	0	1	0	1
	女	1	0	0	1
空	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	0
星	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	0
計		1	1	0	2

(6) 衛生

- 爪切り …入浴後行う。
- 耳の手入れ
- 洗面 …起床時、洗顔、ブラッシングを自立又は介助にて行う。
- 整容 散髪は毎月1回理容師により実施。入所者の体調によってはケアスタッフが行う場合もある。
- 口腔ケア …毎食後、歯みがき、うがい、義歯の洗浄を行う。
できる限り自立を促し、必要に応じて見守り、介助する。
義歯は毎夜、洗浄剤による消毒を実施。
- 寝具 …定期的(週1回)に交換し、洗濯をする。失禁、発汗により汚れた場合はその都度交換する。
布団干しは週1回行う。

(7) 美化

毎日の居室、居間、生活共同室の掃除はおもにケアスタッフがに行っているが、入所者ができる所は協力していただいている。居室の整理、整頓はおもに入所者が行い、できない所はケアスタッフが援助している。家族の方々にもご協力をいただいている。ユニット内は入所者の作品や行事のスナップ写真などを掲示し、生花、鉢植の植物、置物、ぬいぐるみなどで生活の中に潤いを感じるように工夫した。

4. 余暇行事活動

(1) 毎月の行事と誕生会

4月	お花見 誕生会	機能訓練広場にある桜の下で歌を唄い、おやつをいただき楽しく過ごした。
5月	誕生会	季節の歌を唄ってお祝いした。
6月	誕生会	季節を感じる歌を歌い、おやつをいただき、楽しく過ごした。
7月	夏祭り	ご家族を招き、模擬店を開いて催した。
8月	誕生会	歌や体操で楽しんだ。
9月	敬老会 誕生会	施設長や来賓の方にお祝いの言葉を頂き、家族の方も来園され長寿を祝った。
10月	運動会 誕生会	玉入れやパン食い競争などを楽しみ、表情も豊かで、元気いっぱいだった。
11月	誕生会	歌を唄ったり、ゲームをしたりして楽しんだ。
12月	クリスマス会 誕生会	ボランティアによる踊り、カラオケで楽しんだ。サンタクロースからプレゼントを頂いたり、ケーキを食べたり幸せな気分になった。
1月	誕生会	お正月の歌、福笑いゲームで初笑いした。
2月	節分 誕生会	インフルエンザ予防の為、中止した。
3月	誕生会	おやつに甘酒やいちごムースを美味しくいただいた。

(2) 日常の趣味活動

ユニットごとに日常、入所者の希望にそった活動を自由に実施している。

- ・卓上ゲーム…カルタ、パズル、計算ドリル、オセロゲーム
- ・手芸、縫い物…編み物、ぞうきん縫い、衣服のつくろい
- ・図画、工作…はり絵、カレンダー作り、折り紙、飾り物作り
- ・音楽…季節の歌、童謡、懐メロなどをテープやCDで聴き、みんなで歌う。
- ・運動…散歩、ラジオ体操、リズム体操、風船バレー、ジャンケンゲーム、輪投げゲーム

5. 健康管理

(1) 入所者の健康管理

週1回の内科回診、2週に1回の精神科回診、月1回の歯科回診をはじめ、緊急時を含め24時間の連絡体制を確保し、必要に応じて健康上の管理を行っている。

週間スケジュール

曜日	午 前	午 後
月	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 入浴介助 清拭、足浴、診察準備 外来受診	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 全員バイタルチェック カルテ整理 入浴介助
火	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 入浴介助 外来受診	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 入浴介助 診察（精神科月2回、内科月4回）
水	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 入浴介助、吸引機消毒、清掃 診療所管理医による健康診断	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 入浴介助
木	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 入浴介助 外来受診	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 診察 歯科回診 服薬整理 入浴介助
金	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 入浴介助	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 入浴介助 医療用物品請求
土	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 入浴介助	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 入浴介助 包交車整理

1 ヶ月に1回 体重測定

(2) 定期の健康診断

(a) 実施日

5月、11月

(b) 実施項目

- ①身長、体重、血圧測定（5月、11月）
- ②尿検査（糖、蛋白、潜血）（5月、11月）
- ③血液検査（5月、11月）
- ④N式精神機能検査（5月、11月）
- ⑤胸部レントゲン（11月）
- ⑥心電図（11月）
- ⑦日常生活活動能力評価表（5月、11月）

疾病状況

令和2年3月31日現在（人）

	人数	%
1 高血圧	17	5.6
2 心臓病	25	5.0
3 循環不全	6	2.0
4 呼吸系疾患（気管支炎、喘息）	8	2.6
5 胃腸病	7	2.3
6 便秘症	30	10.0
7 低血圧	0	0
8 糖尿病	4	1.3
9 肝臓病	2	0.6
10 腎臓病	4	1.3
11 膵臓病	1	0.3
12 脳疾患	15	5.0
13 皮膚及び皮膚組織の疾患（皮膚炎、疥癬等）	17	5.6
14 外傷（骨折を含む）	4	1.3
15 リューマチ、関節炎、神経痛、腰痛、痛風	9	3.0
16 骨粗鬆症	4	1.3
17 眼科系疾患	6	2.0
18 耳鼻科系疾患	2	0.6
19 歯科系疾患	0	0
20 悪性新生物	0	0
21 精神神経疾患	15	5.0
22 泌尿、生殖器系疾患	16	5.3
23 血液及び造血器の疾患（貧血等）	6	2.0
24 感染症（肺炎、結核、緑膿菌、MRSA等）	2	0.6
25 認知症候群（アルツハイマー、脳血管性、レビー）	30	10.0
26 嚥下不全	16	5.3
27 不眠症	5	1.6
28 てんかん	7	2.3

通院、入院状況

(人)

	内科	脳外科	歯科	眼科	整形外科	外科	泌尿器科	婦人科	リハビリ	耳鼻科	皮膚科	計	入院
4月	10	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	12	5
5月	7	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	9	4
6月	9	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	12	6
7月	7	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	9	5
8月	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	3
9月	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	2
10月	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1
11月	3	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0
12月	5	1	1	1	0	0	0	0	0	0	1	9	0
1月	8	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	9	2
2月	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	5
3月	3	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	3	3

医療的ケアを必要とする利用者の状況

	人数	%
1 尿路留置カテーテル	4	13
2 中心静脈留置カテーテル	0	0
3 鼻腔栄養	5	16
4 酸素療法	0	0
5 吸引器による喀痰除去が必要	3	10
6 気管切開をしている	0	0
7 胃ろう造設	1	3

インフルエンザ予防接種施行

インフルエンザ予防接種（混合） 11月実施 （29名）

入退院状況

氏名	入院日	退院日	日数	病名	病院名
K. T	4 / 2	4 / 10	8	糖尿病性腎症	遠江病院
T. C	4 / 16	6 / 25	70	誤嚥性肺炎	遠江病院
S. M	5 / 31	6 / 6	1	胃カメラ検査	遠江病院
O. M	4 / 25	6 / 25	63	肺炎・尿路感染	遠江病院
K. M	5 / 31	6 / 6	6	右大腿骨顆上骨折	遠州病院
S. S	5 / 31	7 / 17	47	肺炎	遠江病院
K. S	6 / 4	8 / 20	77	誤嚥性肺炎	遠江病院
K. M	6 / 18	7 / 17	29	反復性尿路感染	遠江病院
S. Y	6 / 21	7 / 30	39	薬疹疑い	遠江病院
O. T	7 / 15	10 / 15	92	脳梗塞疑い	遠江病院
I. T	8 / 27	9 / 25	29	尿路感染	遠江病院
O. M	31 / 1 / 21	1 / 22	1	心不全	遠江病院
K. S	1 / 28	3 / 19	50	肺炎・心不全	遠江病院
K. T	1 / 31	2 / 1	1	総胆管結石	遠江病院
K. T	2 / 1	2 / 19	18	総胆管結石	遠州病院
S. S	2 / 10	2 / 26	16	尿路感染	遠江病院
O. Y	2 / 18	3 / 2	12	肺炎・心不全	浜松医大
K. T	2 / 19			総胆管結石	遠江病院
I. T	2 / 21	2 / 26	5	肺炎・心不全	遠江病院
K. K	3 / 18			血尿	遠江病院

利用率

4月	869人	96.5%	8月	873人	93.8%	12月	930人	100%
5月	864人	92.9%	9月	845人	93.8%	1月	917人	98.6%
6月	767人	85.2%	10月	930人	100%	2月	762人	90.7%
7月	836人	89.8%	11月	899人	99.7%	3月	893人	96.0%

平均94.8%

入退所状況

(1) 入所

月 日	氏 名	機 関	経 路	月 日	氏 名	機 関	経 路
4 / 1 2	O. N	浜松市	在宅	3 1 / 2 / 5	S. K	浜松市	在宅
5 / 1 4	M. N	浜松市	在宅	2 / 1 3	M. F	浜松市	在宅
6 / 2 7	O. K	浜松市	在宅	3 / 8	T. A	浜松市	在宅
8 / 2	O. Y	浜松市	在宅	3 / 3 1	S. J	浜松市	在宅
1 0 / 1 6	M. C	磐田市	在宅				
1 1 / 2 7	O. S	浜松市	在宅				

(2) 退所

月 日	氏 名	理 由	月 日	氏 名	理 由
4 / 1 0	K. T	長期入院	3 1 / 1 / 2 2	O. M	永眠
5 / 1 0	T. A	永眠	2 / 8	S. Y	永眠
6 / 2 5	O. M	長期入院	2 / 2 6	I. T	永眠
7 / 3 1	S. Y	永眠	3 / 1 9	K. S	永眠
1 0 / 1 5	O. T	長期入院			
1 1 / 2 5	K. Y	永眠			

入所時の精神状況（1～12は重複回答）

種 別	人数
1 幻覚、妄想がある。	6
2 騒いで他人に迷惑をかける。	1
3 戸外を徘徊し、戻れなくなってしまう。	2
4 何でも口に入れる。	1
5 むやみに暴力をふるう。	1
6 自殺企図がある。	1
7 不潔行為をする。	1
8 異常な性行動におよぶ。	1
9 自他の所有の判断がつかない（窃盗行為をする）	1
1 0 不眠	5
1 1 うつ状態	1
1 2 その他	0
1 3 前1～12の行為、症状がない、或いは症状等が軽い人	2

(2) 職員の健康診断

- (a) 雇用時の健康診断、定期の健康診断（4/14～25、その他雇用時適宜）
- ①既往症及び業務歴の調査
 - ②自覚症状及び他覚症状の有無の検査
 - ③身長（25才以下のみ）、体重、視力、色覚及び聴力（オーディオメーター）
（35才と40才以上）
 - ④胸部X線検査
 - ⑤血圧の測定
 - ⑥尿検査（尿中の糖、蛋白の有無）
 - ⑦貧血検査（血色素量、赤血球数）…全員
 - ⑧肝機能検査（GOT, GPT, r-GPT）…全員
 - ⑨血中脂質検査（総コレステロール、トリグリセライド）…全員
 - ⑩心電図…35才と40才以上
 - ⑪腰痛
- (b) 特定業務（深夜業務）従事者の健康診断（4/14～25、10月）
4月は定期の健康診断の項目を行い、10月は以下の検査を行う。
- ①身長、体重検査（身長は25才以下のみ）
 - ②血圧測定
 - ③尿検査（尿中の糖、蛋白の有無）
 - ④腰痛

6. 家庭との連携

家庭との関わりを維持していける様、夏期休暇や年末年始の帰省を事前に呼び掛け、家族も協力的に対応して頂きました。また、面会の際に日々の状況を看護師より家人に伝えることで、情報共有を図りました。

誕生会に家族も参加していただき、家庭的な雰囲気の中での交流をより多く持ちたいと考えています。

面会状況

	面会なし	年1～2回	2ヶ月に1回	月1回	月2～3回
人数	3	6	8	3	4
	週1回	週2～3回	合計	1日平均	年間総人数
人数	1	5	30	1.5人	536人

外泊状況

12回以上	～6回	～4回	～2回	1回	なし	平均外泊回数	総延べ人数	最多1人あたり
0	0	0	0	0	30	0	0	0

7. 地域との連携

小学校の福祉体験学習と中学校の職業体験学習が年間の行事の一つになり利用者も心待ちする様になっています。

今後も近隣の学校等と交流を持ちながら連携を深めていきたいと考えています。

8. 研修・会議状況

月	代表者会議	リーダー会議	研修	ケース会議
4月	事業報告 認知症カフェ 営業について	体制の変更 記録について		
5月	事業報告 職員募集 健康診断	水分補給、バイタル 報告・相談に関して レクに関して		
6月	第3者評価 水道 接客接遇マナー	室温調整 連携に関して		
7月	就業規則 休暇取得 職場見学	勤務時間 夏祭り		ユニット星 ユニット虹
8月	ホームページ 記録 状態把握	体調不良時の対応 勤務体制		ユニット空 月1回実施
9月	勉強会 不審者対応 認知症カフェ	不審者対応 室温、体温調整		参加者 ケアマネージャー ケアワーカー 看護師
10月	感染症対策 ふれあい広場	連携について 接遇について 記録に関して		ケアプラン確認、 モニタリングを月 1回実施。
11月	クリスマス会 外部研修 接遇に関して	感染症予防対策 実習生受け入れ クリスマス会		
12月	介護保険法改正 施設内研修	研修について 年末年始の業務体制		
1月	人事異動について 消防査察について 感染症に関して	人事異動について 修繕について イベントに関して		
2月	事業計画 職員募集	連絡体制について 防災について 感染予防に関して		
3月	事業報告書 組織図変更 定年の変更	介護保険改正について 利用者情報の報告 勤務体制について		

9. 防災保安

多くの園生に参加してもらう事で災害時の避難対応のイメージを体験してもらう事ができた。職員も訓練を繰り返す事で即座の対応ができるようになり、防災意識も高まった。

訓練内容

	4月	5月	6月	7月	8月
訓練内容	搬出、搬送訓練	避難訓練（通報訓練）	避難訓練（地震想定）	避難訓練（出火想定）	搬出、搬送訓練
9月	10月	11月	12月	1月	2月
総合防災訓練	搬出、搬送訓練	避難訓練（地震想定）	搬出、搬送訓練	避難訓練（出火想定）	避難訓練（地震想定）
3月					
避難訓練（通報訓練）					

平成30年度短期入所生活介護（ショートステイ）事業報告

1. 事業内容

(1) 目的

利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、事業者が利用者に対し、入浴、排泄、食事等の介護その他の日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身の機能を維持し、利用者の家族の身体的、精神的負担の軽減を図ることを目的とする。

(2) 実施主体

介護保険法により、都道府県から指定居宅サービス事業者の指定を受けた事業者である事。

(3) 対象者

介護認定を受けている者であって、身体上又は精神上の障害がある為に家族等の介護を要して日常生活を営んでいる者である。

(4) 運営の方針

利用者1人ひとりの意思及び人格を尊重し、利用者の居宅における生活と利用中の生活が連続したものとなるよう配慮しながら、各ユニットにおいて利用者が相互に社会的関係を築き、自律的な日常生活を営むことを支援することにより、利用者の心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図る。

(5) 短期入所介護の定員

10人

(5) 利用料金

短期入所介護の提供に際し、負担する利用料金は原則として基本料金の1割です。(一定以上の所得のある方は2割となります。)但し、介護保険の給付の範囲を超えた部分のサービスについては全額負担となります。

①基本料金

(単位：1日)

要介護度	利 用 料
要支援1	508単位
要支援2	631単位
要介護1	677単位
要介護2	743単位
要介護3	814単位
要介護4	880単位
要介護5	946単位

②加算

- ・送迎加算 片道 184単位 往復368単位
- ・サービス提供体制強化加算 6単位
- ・介護職員処遇改善加算Ⅲ 1月の総単位数の 6.0%

③食材料費 1日 1,380円 (朝食 330円 昼食 650円 夕食 400円)

④滞在費 1日 1,800円

まとめ

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計平均
利用人数	8.1人	8.5人	7.6人	8.1人	8.6人	6.6人	8.4人	9.4人	8.5人	8.9人	7.1人	8.4人	8.2人

今年度、上半期は入院される方や施設入所される方がいらっしゃいました。冬場には、感染症が流行し、入院となる方や利用を中止される方がいらっしゃったため、利用人数の低下がありました。しかし、体調が落ち着かれると利用を再開されている傾向にあります。

ユニットの家庭的な雰囲気を喜ばれる方もいらっしゃいますし、自分の空間が持てることを好ましく感じる方もいらっしゃいます。今後も、個々のニーズに応じたサービス提供を行いつつ、レクリエーションや交流を積極的に取り入れていき、再度利用したいと思っただけの事業所を目指していきます。

平成 30 年度 社会福祉法人 大善福社会

特別養護老人ホームサテライト天竜 事業報告書

1. 施設の概要

- (1) 施設種別 〔介護老人福祉施設〕 特別養護老人ホームサテライト天竜
- (2) 事業目的 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護の適正な運営を確保するために、人員及び管理運営に関する事項を定め、施設の従事者が、要介護状態にある入所者に対し、適正なサービスを提供する事を目的とします。
- (3) 所在地 静岡県浜松市天竜区二俣町南鹿島 5 番地の 1
- (4) 開 設 平成 2 1 年 5 月 1 日
- (5) 定 員 2 9 名

2. 利用者の概要

(1) 年齢階層状況

平成 31 年 3 月 31 日現在

	現 員	最高年齢	最低年齢	平均年齢	全体平均
男 性	8 人	99 才	73 才	85 才	
女 性	21 人	100 才	70 才	87 才	86 才

年 齢	60～64 才	65～69 才	70～74 才	75～79 才	80～84 才
男	0 人	0 人	1 人	0 人	4 人
女	0 人	0 人	1 人	1 人	5 人
年 齢	85～89 才	90～94 才	95～99 才	100 才～	合 計
男	2 人	0 人	1 人	0 人	8 人
女	6 人	4 人	3 人	1 人	21 人

(2) 在所期間

	1 年未満	1～3	3～5	5～10	10 年以上	計	1 人あたりの平均在所期間
男	5	2	1	0	0	8	0 年 9 ヶ月
女	4	4	6	7	0	21	3 年 8 ヶ月
計	9	6	7	7	0	29	3 年 5 ヶ月

(3) 入所前の居所 (人)

自宅	25
他の老人福祉施設	0
他の社会福祉施設	0
医療施設	4
老人保健施設	0
計	29

(4) 利用者住所別 (人)

中区	2
東区	0
西区	0
南区	0
北区	0
浜北区	15
天竜区	12
計	29

(5) 入所者介護度一覧表

介護度	1	2	3	4	5
利用者	0	1	12	10	6
()内は男性			(3)	(3)	(1)

平均介護度 3.7

3. 生活指導

(1) 排泄

排泄の介護にあたっては、入所者の気持ちを思いやり、できる限り自立した排泄行為がとれるように援助を行っている。運動機能障害のある入所者は、歩行器や車椅子の対応トイレにて、自然な姿勢で自立した排泄が気兼ねなくできるように環境を整え、認知症のある入所者には、尿意や便意のサインを見逃さないように気配りをし、見守り又はトイレ誘導を行っている。

また、排泄障害の予防、早期発見、改善に努め、二次的障害への防止に対応し、きめ細かな介助を心掛けている。

(人)

		自立	昼夜 トイレ誘導	日中トイレ誘導 夜間オムツ	日中トイレ誘導 夜間ポータブル	昼夜 オムツ	計
1丁目	男	1	0	0	2	2	5
	女	1	0	1	0	3	4
2丁目	男	1	0	0	0	1	2
	女	1	3	2	1	2	8
3丁目	男	0	0	0	1	0	1
	女	1	0	2	1	5	9
計		5	3	5	5	11	29

(2) 入浴

事前にバイタルチェックを行い、入浴等の可否を判断して、入浴、シャワー浴、清拭により、状態に合った方法を選択している。自立、一部介助の入浴者は個浴を、全介助の入所者はリフト浴を使用している。入浴の介護では、できる限り本人の意思や習慣を尊重するとともに、できる動作は本人にしていただき、入所者の自立を促している。特に安全性には十分な配慮をし、時間も余裕をもたせて、入所者がゆっくりとリラックスして入浴を楽しんでいただけるように努める。

入浴		着脱			入浴形態 (人)						
		自 力	半介助	全介助	自 力	半介助	全介助	一般浴	リフト浴	特浴	計
1丁目	男	0	2	3	0	3	2	2	3	0	5
	女	0	1	3	0	1	3	1	3	0	4
2丁目	男	1	2	0	0	1	1	1	0	0	2
	女	2	2	3	2	3	3	2	5	1	8
3丁目	男	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1
	女	1	1	7	2	0	7	2	6	1	9
計		4	9	16	4	9	16	9	18	2	29

(3) 離床

朝の起床時間は入所者の生活リズムやその日の体調を考慮して、対応している。昼間も基本的には入居者の自由で、居室にて休まれたり、フロアでテレビ見たり、団欒、趣味活動などをして過ごされている。

移動方法の状況 (人)

		自立歩行	歩行器	押し車	杖	自走車椅子	介助車椅子	リクライニング車イス	計
1丁目	男	1	0	0	0	1	3	1	5
	女	0	0	1	0	1	2	0	4
2丁目	男	1	0	0	0	0	0	1	2
	女	2	0	0	0	2	2	2	8
3丁目	男	1	0	0	0	0	0	0	1
	女	1	0	1	0	3	3	1	9
計		6	0	2	0	7	10	4	29

(4) 食事

毎食、ユニットごとに盛り付けを行い配膳している。各入居者の咀嚼や、嚥下機能に適した調理法のものや嗜好に合う献立を用意し、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくし、美味しく食べていただけるよう配慮している。また、自力で食べられるよう見守り、必要に応じて介助を行っている。

食事時間も入所者の意思や体調に考慮して対応している。

食事状況

		自力	半介助	全介助
1丁目	男	2	3	1
	女	1	2	1
2丁目	男	1	0	1
	女	5	1	2
3丁目	男	1	0	0
	女	6	1	2
計		15	7	7

服薬状況

(人)

自力	半介助	全介助	計
0	0	5	5
0	0	4	4
0	0	2	2
0	0	8	8
0	0	1	1
0	0	9	10
0	0	29	29

主食

(人)

		普通	軟らか	全粥	ムース	濃厚プリン	経管	計
1丁目	男	0	2	1	2	0	0	5
	女	0	0	2	2	0	0	4
2丁目	男	0	1	1	1	0	0	2
	女	0	4	1	1	2	0	8
3丁目	男	0	1	0	0	0	0	1
	女	0	2	5	2	0	0	9
計		0	10	9	8	2	0	29

副食

(人)

		普通	きざみ	超きざみ	ムース	濃厚プリン	経管	計
1丁目	男	1	1	1	2	0	0	5
	女	0	0	1	3	0	0	4
2丁目	男	1	0	0	1	0	0	2
	女	4	1	0	1	2	0	8
3丁目	男	1	0	0	0	0	0	1
	女	2	3	3	2	0	0	9
計		8	5	5	9	2	0	29

(5) 寝返り介助

寝返り介助の必要な方は、身体の状態を加味し、健康状態を考慮して行う

- ・ 昼間 臥床時 2 時間毎 ・ 夜間 2～3 時間毎

寝返り介助 (人)				褥瘡状況 (人)				
		自力	全介助	計	重	中	軽	計
1 丁目	男	3	2	5	0	0	0	0
	女	1	3	4	0	0	0	0
2 丁目	男	1	1	2	0	0	0	0
	女	6	2	8	0	0	0	0
3 丁目	男	1	0	1	0	0	0	0
	女	5	4	9	0	0	0	0
計		16	13	29	0	0	0	0

(6) 衛生

爪きり・耳の手入れ…入浴後やおやつ後など、リラックスした時間帯で行う。

洗面・整容 …起床時、洗顔、ブラッシングを自立又は介助にて行う。

散髪希望者は、毎月 1 回理容師により実施。

口腔ケア …毎食後、歯磨き、うがい、義歯の洗浄を行う。できる限り自立を促し、必要に応じて見守り、介助する。義歯は毎夜、洗浄剤による消毒を実施。

寝具 …定期的（週 1 回）に交換する。

失禁、発汗により汚れた場合はその都度交換する。布団干しは適に行う。

(7) 美化・清掃

毎日の居室、居間、生活共同室の掃除はおもにケアワーカーが行っているが、入居者ができる所は協力していただいている。居室の整理、整頓は主に入居者が行い、できない場合はケアワーカーが援助している。家族の方にもご協力いただいている。

ユニット内は入居者の作品や行事のスナップ写真などを掲示行い、生花、鉢の植物、置物、ぬいぐるみなどで生活の中に潤いを感じるように工夫した。

4. 余暇行事活動

(1) 毎月の行事と誕生会

4月 お花見

岩水寺へお花見ドライブ。

5月 誕生会

誕生日の歌を唄ったり、季節の歌を唄った。

風船を使ったゲームを行い楽しんだ。

6月 誕生日会・外食会食

誕生日の入居者様が食べたいものを事前に聞き、外食会食として提供した。

7月 七夕・誕生日会

短冊に願い事を書き、竹に飾った。

夏祭り

おやつ釣りゲームや出店風の焼きそばの提供、フラダンスのボランティア招き、楽しんだ。

8月 誕生日会

誕生日の入居者が食べたいものを事前に聞き、外食会食として提供した。

9月 敬老会・誕生日会

昼食には、ちらし寿司、茶碗蒸し、すまし汁提供した。

フラダンス・オカリナのボランティアを招き楽しみ、長寿を祝った。

10月 誕生日会

銭太鼓のボランティアを招き、楽しんだ。

11月 誕生日会

誕生日の入居者が食べたいものを事前に聞き、外食会食として提供した。

12月 クリスマス会・誕生日会

クリスマスの飾りつけを入居者様と一緒にいき、クリスマス会当日には、クリスマスの歌の唄ったり、職員がハンドベルを演奏したり、ケーキのデコレーションを行い楽しんだ。

1月 誕生日会

職員が紙芝居を行い楽しんだ。

2月 節分

鬼に変装した職員に新聞で作った豆を投げ、楽しんだ。

3月 ひな祭り・誕生日会

歌を歌ったり、雛人形と写真を撮ったり楽しんだ。

常の趣味活動

ユニットごとに日常、入所者の希望にそった活動を自由に実施している。

- ・ 手芸、縫い物…編み物、雑巾縫い、衣服のつくろい
- ・ 図画、工作…塗り絵、はり絵、カレンダー作り、折り紙、飾りもの作り
- ・ 音楽…季節の歌や懐かしい音楽を聞いたり、唄ったりする、DVD鑑賞
- ・ 運動…散歩、ラジオ体操、風船バレー、じゃんけんゲーム、輪投げ、ボウリング

5. 健康管理

(1) 入居者の健康管理

月4回の内科回診、月2回の精神科回診、月2回の歯科回診をはじめ、緊急時を含め24時間の連絡体制を確保し、必要に応じて健康上の管理を行っている。

定期の健康診断

(A) 実施日 5月、11月

(B) 実施項目 ①～③(5月・11月) ④、⑤(5月)

①身長、体重、血圧測定 ②尿検査(糖、潜血、蛋白)

③血液検査 ④胸部レントゲン ⑤心電図

週間スケジュール

曜日	AM	PM
月	処置(湿布貼布、軟膏塗布、包交、インシュリン、GE)カルテ整理 全員のバイタルチェック 状態報告	処置(湿布貼布、軟膏塗布、包交) 配薬
火	処置(湿布貼布、軟膏塗布、包交、インシュリン、GE)カルテ整理	処置(湿布貼布、軟膏塗布、包交) 配薬
水	処置(湿布貼布、軟膏塗布、包交、インシュリン、GE)カルテ整理	処置(湿布貼布、軟膏塗布、包交) 服薬整理 配薬
木	処置(湿布貼布、軟膏塗布、包交、インシュリン、GE)カルテ整理	処置(湿布貼布、軟膏塗布、包交) 服薬整理 配薬
金	処置(湿布貼布、軟膏塗布、包交、インシュリン、GE)カルテ整理	処置(湿布貼布、軟膏塗布、包交) 配薬
土	処置(湿布貼布、軟膏塗布、包交、インシュリン、GE)カルテ整理	処置(湿布貼布、軟膏塗布、包交) 配薬
日	処置(湿布貼布、軟膏塗布、包交、インシュリン、GE)カルテ整理	処置(湿布貼布、軟膏塗布、包交) 配薬

毎月1回 体重測定 月4回の内科回診、月2回の精神科回診、月2回の歯科回診の際、事前に、診察の準備、回診後には、指示された検査、受診対応等行う。

疾病状況

平成 31 年 3 月 31 日 現在

状況	人数	%
1 高血圧	113	45
2 心臓病	6	21
3 循環不全	18	62
4 呼吸器疾患（気管支炎、喘息）	0	0
5 胃腸病	7	24
6 便秘症	27	93
7 低血圧	0	0
8 糖尿病	6	21
9 肝臓病	1	3
10 腎臓病	1	3
11 膵臓病	0	0
12 脳疾患	15	52
13 皮膚及び皮膚組織の疾患（皮膚炎、疥癬等）	27	93
14 外傷（骨折を含む）	6	21
15 リウマチ、関節炎、神経痛、腰痛、痛風	0	0
16 骨粗鬆症	0	0
17 眼科系疾患	2	7
18 耳鼻科系疾患	0	0
19 歯科系疾患	0	0
20 悪性新生物	0	0
21 精神神経疾患	8	28
22 泌尿、生殖系疾患	2	7
23 血液及び造血器の疾患（貧血等）	0	0
24 感染症（肺炎、結核、緑膿菌、MASA 等）	2	7
25 認知症候群（アルツハイマー、脳血管性、レビー）	22	63
26 嚥下不全	1	3
27 不眠症	15	51
28 てんかん	1	3

通院、入院状況

平成 31 年 3 月 31 日現在

	内科	脳外科	歯科	眼科	整形外科	外科	泌尿器科	呼吸器科	リハビリ	耳鼻科	皮膚科	計	入院
4月	2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	5	2
5月	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0
6月	1	0	0	0	2	0	0	3	0	0	0	6	1
7月	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	1	1
8月	5	0	4	0	0	0	0	0	0	0	2	11	1
9月	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	3	4
10月	6	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	10	1
11月	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	1
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	3
2月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2

◎インフルエンザ予防接種施行

季節型インフルエンザ予防接種 11月6・20日実施(29名)

利用率

4月	784/870	90.1%	8月	868/899	96.5%	12月	863/899	95.9%
5月	839/899	93.3%	9月	829/870	95.2%	1月	857/899	95.3%
6月	822/870	94.5%	10月	849/899	94.4%	2月	745/841	88.5%
7月	868/899	96.5%	11月	842/870	96.8%	3月	853/899	94.8%

平均 94.3%

入退院状況

氏名	入院日	退院日	日数	理由	場所
K・K	平成30年4月10日	退所		尿路感染	遠江病院
M・U	平成30年5月12日	平成30年5月21日	8	右恥骨骨折	遠州病院
A・O	平成30年5月23日	平成30年6月19日	26	右大腿部頸部骨折	日赤病院
M・O	平成30年6月21日	平成30年7月23日	31	肺炎	遠江病院
F・S	平成30年7月18日	平成30年7月26日	7	皮膚癌手術	日赤病院
M・U	平成30年8月2日	平成30年8月24日	21	貧血	遠江病院
M・O	平成30年9月3日	退所		食摂不良	遠江病院
M・N	平成30年9月7日	平成30年10月11日	33	糖尿病性腎症	遠江病院
M・U	平成30年9月14日	退所		肺炎・心不全	日赤病院
N・M	平成30年9月30日	平成30年10月16日	15	右大腿骨頸部骨折	日赤病院
I・I	平成30年10月12日	平成30年11月15日	32	食摂不良	遠江病院
T・H	平成30年11月19日	退所		食摂不良	遠江病院
Y・W	平成31年1月24日	退所		肺炎	遠江病院
T・N	平成31年1月31日	平成31年2月26日	25	急性胃腸炎	遠江病院
F・S	平成31年3月20日	退所		食摂不良	遠江病院

入退所状況

(1) 入所

月 日	氏 名	機 関	経 路
平成 30 年 4 月 2 日	R・F	浜 松	在 宅
平成 30 年 4 月 10 日	N・S	浜 松	在 宅
平成 30 年 4 月 18 日	N・M	浜 松	在 宅
平成 30 年 6 月 15 日	J・T	浜 松	在 宅
平成 30 年 9 月 10 日	T・N	浜 松	在 宅
平成 30 年 9 月 25 日	G・I	浜 松	在 宅
平成 30 年 11 月 12 日	S・K	浜 松	協力病院
平成 31 年 2 月 14 日	H・H	浜 松	在 宅
平成 31 年 3 月 18 日	M・N	浜 松	在 宅

(2) 退所

月 日	氏 名	理 由
平成 30 年 6 月 9 日	K・K	医療的な管理が必要と医師より説明あり、協力病院に入院 家族の希望にて退所となる。
平成 30 年 9 月 4 日	M・O	医療的な管理が必要と医師より説明あり、協力病院に入院 家族の希望にて退所となる。
平成 30 年 9 月 14 日	M・U	肺炎と心不全にて、日赤病院に入院していたが、急変し永眠される。
平成 30 年 11 月 9 日	S・S	ご家族より、在宅復帰の相談あり、希望にて退所となる。
平成 30 年 3 月 27 日	T・N	末期の癌が見つかり、家族の希望にて退所となる。
平成 31 年 2 月 12 日	T・H	医療的な管理が必要と医師より説明あり、協力病院に入院 家族の希望にて退所となる。
平成 31 年 3 月 14 日	T・N	ご家族より、在宅復帰の相談あり、退所となる。
平成 31 年 3 月 30 日	Y・W	長期入院の必要性高いと医師より説明があり、協力病院に入院中 家族の希望にて退所となる。
平成 31 年 3 月 31 日	F・S	食摂不良にて、協力医療機関入院していたが、急変し、永眠される。

入所時の精神状況（1～12は重複回答）

種 別	人 数
1 幻覚、妄想がある。	8
2 騒いで他人に迷惑をかける。	1
3 戸外を徘徊し、戻れなくなってしまう。	0
4 何でも口に入れる。	1
5 むやみに暴力をふるう。	0
6 自殺企図がある。	0
7 不潔行為をする。	1
8 異常な性行動におよぶ。	0
9 自他の所有の判断がつかない。	2
10 不眠	12
11 うつ状態	4
12 その他	0
13 前1～12の行為、症状がない、或いは症状等が軽い人。	15

(2) 職員の健康診断

(A) 雇用時の健康診断、定期の健康診断（4月、10月、その他雇用時適宜）

- ① 既往症及び業務歴の調査
- ② 自覚症状及び他覚症状の有無の検査
- ③ 身長（25歳以下のみ）、体重、視力
- ④ 聴力（オージオメーター）（35歳と40歳以上）
- ⑤ 胸部X線検査
- ⑥ 血圧測定
- ⑦ 尿検査（尿中の糖、蛋白、潜血の有無）
- ⑧ 貧血検査（血色素量、赤血球数、白血球、ヘマトクリット）
- ⑨ 肝機能検査（GOT、GPT、 γ -GTP）
- ⑩ 血中脂質検査（LDL、HDL コレステロール、中性脂肪、血糖）
- ⑪ 心電図（35歳と40歳以上）
- ⑫ 腰痛

(B) 特定業務（深夜業務）従事者の健康診断（10月）

4月は定期の健康診断の項目を行い、10月は以下の検査を行う。

項目 (A) ①・②・③・⑥・⑦・⑫

6. 家庭との連携

家庭との関わりを維持していける様、夏期休暇や年末年始の帰省や事前に呼びかけ、家族も協力的に対応して頂けた。

夏祭りや敬老会、行事・イベントの際など、家族に参加して頂き、家庭的な雰囲気の中で交流をより多く持つことができるよう手紙や掲示物にて参加呼びかけを行い、参加して頂いた。

面会状況

	面会なし	年1~2回	2ヶ月に1回	月1回	月2~3回
人数	0	1	14	5	1
	週1回	週2~3回	合計	1日平均	年間総人数
人数	4	4	29	2.3	855

外泊状況

12回以上	~6回	~4回	~2回	1回	なし	平均外泊回数	総延べ人数	最多1人あたり
1	8	0	0	0	27	1.1	31	23

7. 地域との連携

地域の中学校の職業体験学習や福祉体験学習など受け入れ行うことができた。

地域のお祭りや防災訓練など地域との連携関わりをもつことができた。

8. 防災・保安

多くの入居者に参加してもらう事で災害時の避難対応のイメージを体験してもらう。

職員も訓練を繰り返す事で、災害時に適切な対応が出来るように、している。

防災についての知識も増やすことができ、職員個人の意識も高まった。

訓練内容

4月	5月	6月	7月	8月	9月
防災設備 使用方法確認 訓練	1丁目 火災想定 避難訓練	2丁目 火災想定 避難訓練	サテライト天竜 総合防災訓練	3丁目 火災想定 避難訓練	大善福社会 総合防災訓練
10月	11月	12月	1月	2月	3月
搬送訓練 応急処置訓練	大善福社会 総合防災訓練	地域防災訓練参加 風水害の対応訓練	1丁目 夜間地震想定 避難訓練	2丁目 夜間地震想定 避難訓練	3丁目 夜間地震想定 避難訓練

9. 研修・会議状況

	代表者会議	リーダー会議	勉強会	
4月	事業報告について 職員募集について	新入職員指導について 勤務の時間について	感染対策委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニット会議 各ユニット 毎月1回開催 参加者 生活相談員 看護師 介護職 介護支援専門員 ・モニタリング 随時 ・運営推進会議 奇数月に行う 参加者 家族代表 地域代表 地域包括 元民生委員 介護保険課職員 施設長 生活相談員
5月	事業報告について 業務について	事故対策について 入所者の体調管理について	衛生管理委員会	
6月	評価について 業務改善について	夏祭りの準備について 事故対策について	身体拘束委員会	
7月	就業規則について 自己評価について	勤務体制について 新規入所者対応について	事故対策委員会	
8月	防災訓練について 議事録についての確認	業務改善について 事故対応について	介護処遇委員会	
9月	老健あらたまについて 新規職員対応について	人事異動について 事故対応について	防災委員会 ケア連携委員会	
10月	賞与について 職員募集について	24時間シートについて 事故対応について	感染対策委員会	
11月	人事評価について 感染症予防について	24時間シートについて	防災委員会 衛生管理委員会	
12月	賞与について 感染予防について	24時間シートについて 入所者対応について	身体拘束委員会	
1月	事業計画について 感染症予防について	24時間シートについて 入所者対応について	ケア連携委員会	
2月	職員募集について 委員会の時間について	24時間シートについて 業務の見直しとマニュアル の見直しについて	介護処遇委員会	
3月	事業報告について 勤務について	新規職員について 1年の振り返り	事故対策委員会	

平成30年度

特別養護老人ホーム「サテライト新原」事業報告書

1、施設の概要

- (1) 施設種別 [介護老人福祉施設] 特別養護老人ホームサテライト新原
- (2) 事業目的 入居者が可能な限りその居宅における生活に復帰できることを念頭に置いて、施設が入所者対し、入浴、排泄、食事等の介護、相談及び援助、社会生活上の便宜の供与その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行うことにより、入居者がその有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるようにすることを目的とする。
- (3) 所在地 浜松市浜北区新原4340番地の13
- (4) 開設 平成21年5月15日
- (5) 定員 29名

2、入居者の概要

(1) 年齢階層状況

平成31年3月31日現在

	現員	最高年齢	最低年齢	平均年齢	全体年齢
男	7人	92歳	76歳	87.2歳	88.1歳
女	22人	103歳	74歳	88.4歳	

(人)

年齢	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳
男	0	0	0	1	0
女	0	0	1	2	3
年齢	85～89歳	90～94歳	95～99歳	100歳～	合計
男	4	2	0	0	7
女	5	8	2	1	22

(2) 入居期間

	1年未満	1～3年	3～5年	5～10年	10年以上	計	1人あたりの平均入居期間
男	3	2	2	0	0	7	2.1年
女	4	4	6	8	0	22	5.5年
計	7	6	8	8	0	29	3.8年

(3) 入居前の居所

(人)

自宅	20
他の老人福祉施設	0
他の社会福祉施設	0
医療施設	5
老人保健施設	4
その他	0
計	29

(4) 身体障害者手帳

(人)

1級	0
2級	1
3級	0
4級	0
5級	0
6級	0
計	1

(5) 入居者住所別

中区	北区	東区	西区	南区	浜北区	天竜区	合計
2	3	2	0	0	19	3	29

(6) 入居者介護度一覧表

介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男	0	0	1	5	1	7
女	1	0	7	9	5	22
計	1	0	8	14	6	29

平均介護度 3.7

3、生活指導

(1) 排泄

排泄の介護にあたっては、入居者の気持ちを思いやり、できる限り自立した排泄行為がとれるように援助を行っている。運動機能障害のある入所者は、歩行器や車椅子の対応トイレにて、自然な姿勢で自立した排泄が気兼ねなくできるように環境を整え、認知症のある入所者には、尿意や便意のサインを見逃さないように気配りをし、見守り又はトイレ誘導を行っている。

また、排泄障害の予防、早期発見、改善に努め、二次的障害への防止に対応し、きめ細かな介助を心掛けている。

(人)

		自立	日中トイレ介助 夜間オムツ使用	昼夜トイ レ介助	ポータブ ル全介助	昼夜オムツ 使用	日中トイレ介助 夜間ポータブル介助	計
1 丁目	男	0	1	0	0	1	0	2
	女	0	1	3	0	3	0	7
2 丁目	男	0	1	1	0	1	0	3
	女	0	2	1	0	4	0	7
3 丁目	男	0	0	1	0	1	0	2
	女	2	3	0	0	3	0	8
計		2	8	6	0	13	0	29

(2) 入浴

事前にバイタルチェックを行い、入浴等の可否を判断して、入浴、シャワー浴、清拭により、状態に合った方法を選択している。自立、一部介助の入浴者は個浴を、全介助の入所者はリフト浴を使用している。

入浴の介護では、できる限り本人の意思や習慣を尊重するとともに、できる動作は本人にしていただき、入居者の自立を促している。特に安全性には十分な配慮をし、時間も余裕をもたせて、入居者がゆっくりとリラックスして入浴を楽しんでいただけるように努める。

入浴

(人)

		自立	半介助	全介助	計
1 丁目	男	0	0	2	2
	女	0	0	7	7
2 丁目	男	0	0	3	3
	女	0	0	7	7
3 丁目	男	0	0	2	2
	女	0	2	6	8
計		0	2	27	29

着脱

(人)

		自立	半介助	全介助	計
1 丁目	男	0	0	2	2
	女	0	0	7	7
2 丁目	男	0	0	3	3
	女	0	0	7	7
3 丁目	男	0	0	2	2
	女	0	2	6	8
計		0	2	27	29

入浴形態

(人)

		一般浴	リフト浴	特浴	計
1 丁目	男	0	1	1	2
	女	2	2	3	7
2 丁目	男	0	0	3	3
	女	1	4	2	7
3 丁目	男	1	0	1	2
	女	2	4	2	8
計		6	11	12	29

(3) 離床

朝の起床時間は入所者の生活リズムやその日の体調を考慮して、対応している。昼間も基本的には入居者の自由で、居室にて休まれたりリビングでテレビ、団欒、趣味活動などをして過ごされている。

移動状況

(人)

		自力車椅子	介助車椅子	自力歩行	歩行器	押し車	杖・手引き	計
1 丁目	男	1	1	0	0	0	0	2
	女	1	5	0	1	0	0	7
2 丁目	男	1	2	0	0	0	0	3
	女	2	3	0	0	1	1	7
3 丁目	男	2	0	0	0	0	0	2
	女	1	3	2	0	0	2	8
計		8	14	2	1	1	3	29

(4) 食事

毎食、各ユニットごとに盛り付けをし配膳している。

各入居者の咀嚼や、嚥下機能に適した調理法のものや嗜好に合う献立を用意し、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくし、美味しく食べていただけるよう配慮している。

また、自力で食べられるよう見守り、援助し、必要に応じて介助を行っている。食事時間も入居者の意思や体調に考慮して対応している。

食事状況 (人)

		自立	半介助	全介助	計
1 丁目	男	0	2	0	2
	女	3	2	2	7
2 丁目	男	0	1	2	3
	女	1	2	4	7
3 丁目	男	1	1	0	2
	女	4	1	3	8
計		9	9	11	29

服薬状況 (人)

		自立	半介助	全介助	計
1 丁目	男	0	0	2	2
	女	0	0	7	7
2 丁目	男	0	0	3	3
	女	0	0	7	7
3 丁目	男	0	0	2	2
	女	0	0	8	8
計		0	0	29	29

主

主食 (人)

		米	米+粥	全粥	ムース食	濃厚プリン	経管栄養	計
1 丁目	男	1	0	1	0	0	0	2
	女	3	0	2	1	1	0	7
2 丁目	男	1	0	0	1	1	0	3
	女	2	0	3	1	0	1	7
3 丁目	男	0	0	2	0	0	0	2
	女	4	0	2	1	1	0	8
計		11	0	10	4	3	1	29

副食 (人)

		普通	一口大	きざみ	超きざみ	ムース食	濃厚プリン	経管栄養	計
1 丁目	男	1	0	1	0	0	0	0	2
	女	2	1	2	0	1	1	0	7
2 丁目	男	0	0	1	0	1	1	0	3
	女	0	1	4	0	1	0	1	7
3 丁目	男	0	1	0	0	1	0	0	2
	女	2	2	0	2	1	1	0	8
計		5	5	8	2	5	3	1	29

(5) 体位交換

体位交換必要者

※健康状態を配慮して行う。 昼間：臥床時は2時間毎、夜間：2時間毎

(人)

1 丁目	男	1
	女	2
2 丁目	男	3
	女	3
3 丁目	男	1
	女	3
計		13

体位交換

(人)

		自立	全介助	計
1 丁目	男	1	1	2
	女	5	2	7
2 丁目	男	0	3	3
	女	4	3	7
3 丁目	男	1	1	2
	女	5	3	8

褥瘡状況

(人)

		重	中	軽	計
1 丁目	男	0	0	0	0
	女	0	1	0	1
2 丁目	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	0
3 丁目	男	0	0	0	0
	女	2	0	0	2
計		2	1	0	3

(6) 衛生

- 爪切り …入浴後行う。
- 耳の手入れ …適宜行う。
- 洗面 …起床時、洗顔、ブラッシングを自立又は介助にて行う。
- 整容 …散髪は毎月1回理容師により実施。
- 口腔ケア …毎食後、歯磨き、うがい、義歯の洗浄を行う。
できる限り自立を促し、必要に応じて見守り、介助する。
義歯は毎夜、洗浄剤による消毒を実施。
- 寝具 …定期的(週1回)に交換し、洗濯をする。失禁、発汗により汚れた場合はその都度交換する。

(7) 美化

毎日の居室、居間、生活共同室の掃除はおもにケアスタッフが行っているが、入居者ができる所は協力していただいている。居室の整理、整頓はおもに入居者が行い、できない所はケアスタッフが援助している。家族の方にもご協力いただいている。ユニット内は入居者の作品や行事のスナップ写真などを掲示したり、生花、鉢の植物、置物、ぬいぐるみなどで生活の中に潤いを感じるように工夫した。

4、暇行事活動

(1) 行事

- 4月 お花見 桜をお花見みるために岩水寺へ出掛けた。
クラブ活動
- 5月 クラブ活動
- 6月 訪問衣料販売 西松衣料様に来所していただき、春・夏用の衣料の訪問販売を行った。
食事レクリエーション 手作りパフェを食した。
クラブ活動
- 7月 七夕 それぞれの想いを短冊にこめて笹に飾った。
夏祭り かき氷、お好み焼き、わらびもち、フライドポテト千本つり(くじ引き)等の出店風を楽しんだ。昼食には、おそうめんを食した。施設を開放し地域の方にも来ていただいた。
クラブ活動
- 8月 クラブ活動
- 9月 町内会祭典 屋台、地域の方々の練りを鑑賞した。
敬老会 ボランティアさんによる笑いヨガを使ったレクリエーションを楽しんだ。
昼食は卵丼を食した。
クラブ活動
- 10月 クラブ活動
- 11月 訪問衣料販売 西松衣料様に来所していただき、秋・冬用の衣料の訪問販売を行った。

クラブ活動

- 1 2月 クリスマス会 ボランティアさんによるピアノ演奏を入居者様とともに楽しんだ。
おやつには、ケーキを食した。

クラブ活動

1月 クラブ活動

- 2月 節分 職員が鬼役になり、新聞紙を丸めたボールで豆まきをした。
おやつには、お汁粉を食した。

クラブ活動

- 3月 ひな祭り 雛人形の前で、皆様で記念撮影をした。
おやつには、ケーキ、甘酒を食した。

クラブ活動

(2) 日常の趣味活動

ユニットごとに日常、入居者の希望にそった活動を自由実施している。

- ・卓上ゲーム…カルタ、パズル、計算ドリル
- ・手芸、縫い物…編み物、雑巾縫い、衣服のつくろい
- ・図画、工作…はり絵、カレンダー作り、折り紙、飾りもの作り
- ・音楽…季節の歌や懐かしい音楽を聞いたり、唄ったりする。
- ・運動…散歩、ラジオ体操、風船バレー、じゃんけんゲーム、輪投げ、ボーリング

5、健康管理

(1) 入居者の健康管理

月4回の内科回診、月2回の精神科回診、月1回の歯科回診をはじめ、緊急を含め24時間の連絡体制を確保し、必要に応じて健康上の管理を行っている。

定期の健康診断

(A) 実施日

5月、11月

(B) 実施項目

- ①身長、体重、血圧測定 5月、11月
- ②尿検査（糖、潜血、蛋白） 5月、11月
- ③血液検査 5月、11月
- ④胸部レントゲン 5月
- ⑤N式精神機能検査 介護認定調査実施時及び医師の指示にて
- ⑥長谷川式簡易知能評価 介護認定調査実施時及び医師の指示にて
- ⑦日常生活活動能力評価表 介護認定調査実施時及び医師の指示にて

週間スケジュール

曜日	午前	午後
月	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） カルテ整理	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 服薬管理
火	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） カルテ整理、診察準備	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 服薬管理、全員バイタルチェック 内科 4回/月 回診後の指示検査
水	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） カルテ整理、診察準備	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 服薬管理、全員バイタルチェック 精神科 2回/月 回診後の指示検査
木	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） カルテ整理、診察準備	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 服薬管理 歯科医師によるメンテナンス 2回/月
金	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） カルテ整理	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 服薬管理
土	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） カルテ整理	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 服薬管理
日	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） カルテ整理	処置（湿布貼布、軟膏塗布、包交） 服薬管理

※毎月1回 体重測定

通院、入院状況

(人)

	内科	脳外科	歯科	眼科	整形外科	外科	泌尿器科	婦人科	リハビリ	耳鼻科	皮膚科	計	入院
4月	1					1						2	1
5月	1		5									6	1
6月	4		5		2							11	2
7月	3				2			2				7	3
8月	1				1							2	0
9月	4											4	2
10月	4					2						6	2
11月	4						1			3		8	1
12月	3					3						6	1
1月	3											3	2
2月	5		1			1						7	3
3月	3			1		2				1	1	8	3

インフルエンザ予防接種施行

平成30年11月 7日、13日、12月11日 実施 合計29名

疾病状況

	人数	%
1 高血圧	11	37.9
2 心臓病	25	86.2
3 循環不全	25	86.2
4 呼吸器疾患（気管支炎、喘息）	8	27.5
5 胃腸病	7	24.1
6 便秘症	26	89.6
7 低血圧	0	0
8 糖尿病	5	17.2
9 肝臓病	0	0
10 腎臓病	0	0
11 膵臓病	0	0
12 脳疾患	15	51.7
13 皮膚及び皮膚組織の疾患（皮膚炎、疥癬等）	19	65.5
14 外傷（骨折を含む）	1	3.4
15 リウマチ、関節炎、神経痛、腰痛、痛風	7	24.1
16 骨粗鬆症	4	13.7
17 眼科系疾患	4	13.7
18 耳鼻科系疾患	1	3.4
19 歯科系疾患	0	0
20 悪性新生物	1	3.4
21 精神神経疾患	17	58.6
22 泌尿、生殖系疾患	13	44.8
23 血液及び造血器の疾患（貧血等）	3	10.3
24 感染症（肺炎、結核、緑膿菌、MRSA 等）	5	17.2
25 認知症候群（アルツハイマー、脳血管性、レビー）	23	79.3
26 嚥下不全	1	3.4
27 不眠症	6	20.6
28 てんかん	1	3.4

入退院状況

氏名	入院日	退院日	日数	病名	病院名
H. M	H30. 4. 19	H30. 5. 1	11	誤嚥性肺炎	遠江病院
K. S	H30. 5. 31	H30. 7. 31	60	尿路感染症	遠江病院
T. S	H30. 6. 14	H30. 7. 27	43	尿路感染症	遠江病院
T. S	H30. 7. 17	H30. 7. 30	12	蜂窩織炎	遠江病院
T. I	H30. 9. 1	H30. 9. 7	6	心筋梗塞	浜松赤十字病院
T. N	H30. 9. 8	H30. 10. 3	25	心筋梗塞	遠江病院
N. H	H30. 9. 14	H30. 10. 4	19	誤嚥性肺炎	遠江病院
H. I	H30. 11. 6	H31. 1. 17	71	細菌性肺炎	遠江病院
N. H	H31. 1. 15	H31. 2. 20	36	肺炎	遠江病院
S. M	H31. 1. 21	H31. 2. 4	13	尿路感染症	遠江病院
M. N	H31. 2. 18		(41)	尿路感染症	遠江病院
A. I	H31. 2. 18		(41)	肺炎	遠江病院
K. W	H31. 3. 27		(4)	血糖コントロール	遠江病院

() は、H30年4月1日～H31年3月31日までの入院日数。

利用率

月	延日数 (日)	利用率 (%)	月	延日数 (日)	利用率 (%)	月	延日数 (日)	利用率 (%)
4月	853/870	98.0	8月	894/899	99.4	12月	868/899	96.6
5月	889/899	98.9	9月	817/870	93.9	1月	857/899	95.3
6月	820/870	94.3	10月	878/899	97.7	2月	767/812	94.5
7月	826/899	91.9	11月	846/870	97.2	3月	833/899	92.7

10148/10585 平均 95.9%

入退居状況

(1) 入居

氏名	入所日	保険者	経路
T. U	H30. 4. 24	浜松市	自宅
Y. O	H30. 5. 9	浜松市	自宅
K. K	H30. 6. 5	浜松市	医療機関
H. T	H30. 8. 6	浜松市	医療機関
J. Y	H30. 9. 17	浜松市	自宅
M. H	H30. 10. 10	浜松市	医療機関
S. I	H30. 10. 20	浜松市	サ高住
M. T	H31. 2. 23	浜松市	自宅

(1) 退居

氏名	退所日	理由
S. N	H30. 4. 17	医学的管理必要
H. M	H30. 5. 1	医学的管理必要
S. H	H30. 5. 29	永眠
T. S	H30. 7. 27	医学的管理必要
T. I	H30. 9. 7	医学的管理必要
T. N	H30. 10. 3	医学的管理必要
K. K	H30. 10. 10	医学的管理必要
N. H	H31. 2. 20	医学的管理必要

入居時の精神状況（1～12は重複回答）

種別	人数
1 幻覚、妄想がある。	0
2 騒いで他人に迷惑をかける。	0
3 戸外を徘徊し、戻れなくなってしまう。	0
4 何でも口に入れる。	0
5 むやみに暴力をふるう。	0
6 自殺企図がある。	0
7 不潔行為をする。	0
8 異常な性行動におよぶ。	0
9 自他の所有の判断がつかない。	0
10 不眠	0
11 うつ状態	0
12 その他	8
13 前1～12の行為、症状がない、或いは症状等が軽い人。	0

(2) 職員の健康診断

(A) 雇用時の健康診断、定期の健康診断（4月、その他雇用時適宜）

- ①既往症及び業務歴の調査
- ②自覚症状及び他覚症状の有無の検査
- ③身長（25歳以下のみ）、体重、視力、色覚及び聴力（オーディオメーター）
(35歳と40歳以上)
- ④胸部X線検査
- ⑤血圧の測定
- ⑥尿検査（尿中の糖、蛋白の有無）
- ⑦貧血検査（血色素量、赤血球数）…全員

- ⑧肝機能検査（GDP, GPT, r-GPT）…全員
- ⑨血中脂質検査（総コレステロール、トリグリセライド）…全員
- ⑩心電図…35歳と40歳以上
- ⑪腰痛

(B) 特定業務（深夜業務）従事者の健康診断（10月）

4月は定期の健康診断の項目を行い、10月は以下の検査を行う。

- ①身長、体重検査（身長は25歳以下のみ）
- ②血圧測定
- ③尿検査
- ④腰痛

6、家庭との連携

家庭との関わりを維持していけるよう、夏期休暇や年末年始の帰省や事前に呼びかけ、御家族にも協力していただいた。

夏祭り、敬老会、クリスマス会等の行事に、御家族にも出席していただき、家庭的な雰囲気の中で交流をより多く持ちたいと考えている。

面会状況

(人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
合計	34	35	49	43	47	43	45	45	50	27	1	24
平均	1.1	1.1	1.6	1.3	1.5	1.3	1.5	1.5	1.6	0.8	0	0.7

年間総人数 443人 1日平均 1.2人

外泊状況

12回以上	～6回	～4回	～2回	1回	なし	平均外泊回数	総延べ人数	最多1人あたり
0	0	0	0	0	29	-	0	0

7、地域との連携

7月の夏祭りでは、かき氷、お好み焼き、わらびもち、フライドポテト千本つり（くじ引き）等の出店風を出し、地域の子どもさん達が遊びに来て下さった。9月の町内の祭典での屋台引き回しの際、施設を休憩所として開放し、利用していただいた。12月には地域の防災訓練に参加させていただいた。今後も地域との関わりを大切に、地域に密着した施設を目指していきたい。

8、研修・会議状況

	代表者会議	リーダー会議	研修	ユニット会議
4月	事業報告	各丁入居者情報共有 職員健診		ユニット会議は、 毎月/1回 開催した。
5月	理事会・評議会報告	各丁入居者情報共有 入居者健診		
6月	職員処遇	各丁入居者情報共有 夏布団へ交換		
7月	自己評価 夏祭り	各丁入居者情報共有		
8月	総合防災訓練、敬老会	各丁入居者情報共有 自己評価振り返り		
9月	職員研修	各丁入居者情報共有		
10月	総合防災訓練 人事評価 就業規則	各丁入居者情報共有 冬布団へ交換		
11月	職員紹介 クリスマス会 賞与	各丁入居者情報共有		
12月	職員募集 インフルエンザ等の感染症	各丁入居者情報共有		
1月	体調管理 感染症対策	各丁入居者情報共有 SNS 取り扱い 感染症対策		
2月	事業計画	各丁入居者情報共有		
3月	部会、委員会、 人事、組織図発表	各丁入居者情報共有 寝具類の取り扱い		

9、防災保安

多くの入居者に参加してもらうことで災害時の避難対応のイメージを体験してもらう事ができた。
職員も訓練を繰り返す事で即座の対応が出来るようになり、防災意識も高まった。

訓練内容

4月	5月	6月	7月	8月	9月
避難訓練	火災設備	避難訓練 (夜間想定)	地震・消火訓練 (夜間想定)	搬送訓練	総合防災訓練 (夜間想定)
10月	11月	12月	1月	2月	3月
備品チェック	総合防災訓練 (地震、夜間想定)	地域防災訓練	地震・避難訓練	搬送訓練 (夜間想定)	情報伝達訓練

10、運営推進会議

2カ月に1回開催された。

議事録を事務カウンターに置き、どなたでも閲覧していただけるよう配慮した。

平成30年度

特別養護老人ホーム 掛川福祉ノ郷 事業報告

1. 施設概要

- 1) 施設種別 〔介護老人福祉施設〕 特別養護老人ホーム 掛川福祉ノ郷
- 2) 事業目的 掛川福祉ノ郷は、施設サービス計画に基づき、可能な限り在宅における生活への復帰を念頭において、入浴、排せつ、食事などの日常生活を送るために常時介護が必要で、自宅では介護が困難なお年寄りを受け入れ、介護サービス計画(ケアプラン)にもとづく各種介護サービス・支援、相談及び助言、社会生活上の便宜の供与を図ることを目的とします。
また、機能訓練、健康管理などを行うことにより、の他ご利用者様の日常生活上のお世話、ご入居者様が有する身体能力等に応じ、自立した日常生活を営むことができるよう、ユニットケアの家庭的な雰囲気の中で、生活できるようサービスの提供に努めていきます。
- 3) 所在地 静岡県掛川市上西郷7921番の1
- 4) 開設 平成19年3月12日
- 5) 定員 長期入所 100名 短期生活介護 20名
- 6) 配置人員

平成31年3月31日現在

職種	職員数	職種	職員数
施設長	1名	管理栄養士	1名
生活相談員	3名	介護職員	※2 46名(3名)
看護職員	※2 5名(3名)	事務職員	1名
介護支援専門員	※3 3名(2名)	嘱託医	※4 3名(3名)

※1 () 非常勤再掲 ※2 () 派遣・パート等 ※3 () 介護職員と兼務等 ※4 () 非常勤

2. ご利用者様の概要

1) 年齢階層別状況

当施設の入居者は、男性 13 名、女性 71 名の計 84 名です。(H31.3.31 現在)
最高齢者は 101 歳の女性で、平均年齢は 87 歳となっています。

区分	現員	最高年齢	最低年齢	平均年齢	全体年齢	
男性	16名	90歳	65歳	81.8歳	86.9歳	
女性	57名	101歳	65歳	88.3歳		
年令	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	
人 員	男性	-	-	1名	1名	2名
	女性	-	-	1名	3名	2名
80～84才	85～89才	90～94才	95～99才	100才～	合計	
7名	3名	2名	-	-	16名	
10名	13名	19名	10名	1名	59名	

2) 入居者介護度別状況 (男性 16 名、女性 57 名)

当施設の平均要介護度は、3.7 となっており、独居や老々世帯の方の入居者も増加傾向にあります。

介護度	要介護度 1	要介護度 2	要介護度 3	要介護度 4	要介護度 5	平均 介護度
73名 (16名)	2名 (0名)	6名 (2名)	23名 (6名)	28名 (7名)	16名 (1名)	3.4

下段 () 内は男性

3) 入居前の待機状況

当施設の入居前の待機場所では、自宅は約数を占めており、次に病院の順となっています。

自宅	老人保健施設	病院	GH	ケアハウス	障害者施設	その他	計
40名	6名	17名	3名	0名	0名	9名	75名

※GHはグループホーム その他・特定施設 (有料老人ホーム・サ高住など)

4) 保険者別入居者状況

当施設の保険者別入居者は、掛川市が 67 名と最も多く、次いで菊川が 5 名、森町が 2 名、袋井、浜松から各 1 名の方が在籍しております。

掛川市	菊川市	森町	袋井市	浜松市	他県	合計
67名	6名	2名	1名	1名	0名	75名

5) 入所者利用率

月別の利用状況は、昨年度以降低下しています。年間の総利用実人数は 27,146 人で、昨年度より 4.4 ポイント減少し、年間平均利用率は 74.2%でした。

入居希望者の減少や入院・退所者の増加もあり利用実績が低迷しています。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	年間 利用率
利用率	76.0%	71.7%	71.9%	75.0%	74.6%	78.3%	
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	74.2%
利用率	77.3%	80.1%	73.1%	69.5%	69.1%	73.6%	

3. 日常生活の援助

1) 排泄状況

自立的な排泄に向け、ご入所者様の気持ちを思いやり、排泄リズムや習慣を活かし、可能な限り自立した排泄行動がとれるよう介助に努めています。また「トイレでいたい」というご利用者様の思いや意欲を職員が支えられるよう、介助、尿意・便意の訴えに応じた介助を心掛けています。

運動機能障害のあるご入所者様は、歩行器や車椅子の対応にて、自然な姿勢で自立した排泄が、トイレで気兼ねなく出来るように環境を整え、認知症のあるご入所者様には、尿意や便意のサインを見逃さないように気配りし、見守り又はトイレ誘導を行っていきます。

単位：名

区分	自立		WC軽・半介助		WC全介助		PWC使用		オムツ		パット	
	日中	夜間	日中	夜間	日中	夜間	日中	夜間	日中	夜間	日中	夜間
男性	4	4	3	1	1	0	0	1	7	10	7	10
女性	11	8	15	4	3	0	3	12	26	38	26	38
合計	15	12	18	5	4	0	3	13	33	48	33	48

2) 入浴状況

ご利用者様の身体状況に応じて、自立、一部介助の入浴者は個浴を、全介助のご入居者様は機械浴を使用しています。入浴時には介護職員、看護師により、ご利用者様の全身チェックを行い、褥瘡の有無、オムツかぶれ等の皮膚トラブルの防止に努めていきます。

入浴の介護では、できる限りご入居様にさせていただき、残存機能の保持と自立を促しています。特に安全性には十分な配慮をし、時間も余裕を持たせ、脱衣場の温度調整など、ご入居者様がゆっくりとリラックスして入浴を楽しんで頂けるよう努めています。

入浴 単位：名

区分	自力	半介助	全介助
男性	2	5	10
女性	6	12	40
合計	8	17	50

入浴形態 単位：名

区分	一般浴	機械浴	計
男性	11	6	17
女性	33	25	58
合計	44	31	75

3) 離床状況

ご入所者様の全員の離床を基本とし、日常生活や生活リズム、その日の体調を考慮し、身体機能の低下を防止するよう努めています。

車椅子の移乗時は、ご入居者様の残存機能を活かしつつ、ケガや負担をかけることのないよう配慮し、安楽な姿勢を保つことが出来るよう配慮しています。

昼間も基本的にはご入所者様の意思を尊重し、居室で静養をされたり、フロアーにおいて他のご利用者様との会話、レクリエーション等をして過ごされています。

移動状況

区分	独歩		車椅子		寝たきり
	自力	杖・押車	自走	介助	
男性	4名	2名	7名	4名	0名
女性	4名	9名	7名	38名	0名
合計	8名	11名	14名	42名	0名

4) 食事状況

ご入居者様の毎日の食事摂取量、飲水量を把握するとともに、健康状態をモニタリングしながら、豊かな食生活を提供できるよう心がけ、自力で食べられるよう見守りや援助など、ご利用者様やご家族の意向に応じて介助を行なっています。食事時間もご入居者様の意思や体調を考慮して対応しています。

毎食、ユニット毎に食事の盛り付けと配膳をし、ご利用様の状態に合わせ、副食の大きさを一人ひとり調整しています。また、冷たいものは冷たくし、美味しく食べていただけるよう配慮しています。

食事状況－1

※ 全介助の中には 経管栄養の方を含む

区分	自力	見守り	一部介助	全介助	計
男性	0名	14名	2名	1名	17名
女性	0名	26名	21名	11名	58名
合計	0名	40名	23名	12名	75名

食事状況－2 (主食状況)

区分	普通	お粥	ミキサー	ゼリー	経管栄養	計
男性	8名	7名	1名	1名	0名	17名
女性	24名	25名	3名	4名	2名	58名
合計	32名	32名	4名	5名	2名	75名

食事状況－3 (副食状況)

※ 経管栄養の方を除く

区分	普通	一口大	刻み	極刻み	ミキサー	ゼリー	計
男性	3名	2名	5名	1名	3名	3名	17名
女性	8名	16名	18名	4名	5名	5名	56名
合計	11名	18名	23名	5名	8名	8名	73名

5) 体位交換

ご入居者様の皮膚状態や健康状況等を考慮しながら、自力での体位交換ができない方については定時での体位交換を行っています。また、褥瘡など悪化の恐れのある場合は、耐圧分散マットやエアーマット等を使用し、褥瘡の防止に努めています。

区分	体位交換者	エアーマット使用者	褥瘡
男性	3名	1名	0名
女性	18名	4名	2名
合計	21名	5名	2名

6) 環境美化

居室、フロアーなどの掃除は毎日実施しています。また、身体機能が自立されている方には、作業の一部をご協力いただいています。居室の整理・整頓は、主にご入居者様が行い、出来ない所・掃除機がけ等は介護職員が援助しています。

ユニット内は、ご入居者様の工作作品やスナップ写真、思い出の品などを掲示したり、生花、鉢植の植物、置物等を各ユニットが趣向を凝らし、親しみ、馴染みの生活の中に、安らぎや潤いを感じて頂けるよう配慮しています。

7) 日常の趣味活動

各ユニットでは、日常にご入居者様のご要望等により、散策、カラオケ、レクリエーションなど希望に沿った活動を実施しています。

- 卓上ゲーム、手芸・縫い物、図画・工作、折り紙・飾り物作り、リハビリ体操、季節の歌・童謡・懐メロや、園芸・土いじり、DVD鑑賞など。

8) 入所者の健康管理

日常の健康管理は看護師が実施し、必要な医療処置等を行っています。

また、週1回（毎週水曜日、または火曜日）嘱託医による診察を実施しています。その他、ご入居者様の身体状況など必要に応じて健康上の管理を行っています。

さらに、認知症などの精神疾患を持たれるご利用者様への療養指導として、精神科医による診察を隔週（金曜日）に実施しております。

(1) 看護業務 週間スケジュール

- 月・・・第1月曜日 栄養チューブ交換、嘱託医回診利用者様事前報告、処方箋の整理
- 火・・・処方箋の整理
- 水・・・嘱託医回診 上申、指示受け
- 木・・・回診時指示（採血、点滴、検査等）施行 臨時薬の内服薬セット
- 金・・・精神科回診（隔週） 定期内服薬セット（土・日・月の昼の分まで配薬）
- 土・・・定期内服薬セット（未セット分）、処方箋の整理
- 日・・・緊急時対応

(2) 日常業務

- 各ユニットラウンド（利用者様の状態観察及び処置、点眼、下剤配薬、記録）
- 翌日の配薬セット及び確認
- 異常者の嘱託医への上申・対応

(3) 随時業務

- 回診車の物品補充及び点検
- 備品・消耗品の在庫確認及び補充
- 摂子、万能ツボの滅菌
- 消毒薬の補充

(4) 健康診断

- 入所者健康診断（春・秋の年2回）
- 職員健康診断（春・秋の年2回）

(5) 予防接種

- 入所者及び職員の接種（インフルエンザ予防接種 11月～随時）

(6) 本部からの依頼

- 長谷川式簡易知能評価スケール（HDS-R）の実施

4. ご入居様の状況

1) 医療的ケアを必要とする入所者の状況

尿道留置カテーテルの者が名と最も多く、胃ろう造設者が2名と最も多く、吸引器による喀痰除去が必要な者は0名となっている。

平成31年3月31日現在

NO	医療的ケアの内容	人数
1	尿道留置カテーテルの者	8名
2	胃ろう造設者	2名
3	吸引器による喀痰除去が必要な者	0名

2) 入所者の疾病状況

平成31年3月31日現在

NO	疾病名	人数
1	高血圧	43名
2	心臓病	28名
3	呼吸系疾患（気管支炎、喘息）	8名
4	胃腸病	31名
5	便秘症	40名
6	糖尿病	16名
7	肝臓病	3名
8	腎臓病	4名
9	脳卒中	29名
10	皮膚及び皮膚組織の疾患（皮膚炎、疥癬等）	38名
11	外傷（骨折を含む）	41名
12	リウマチ、関節炎、神経痛、腰痛、痛風	30名
13	眼科系疾患	31名
14	耳鼻科系疾患	12名
15	歯科系疾患	0名
16	悪性新生物	8名
17	精神神経疾患	34名
18	泌尿、生殖器系疾患	29名
19	血液及び造血器の疾患（貧血等）	16名
20	感染症（肺炎、結核、緑膿菌、MRSA等）	4名
21	認知症候群（アルツハイマー、脳血管性）	68名
22	嚥下不全	31名
23	不眠症	15名
24	吸引器による喀痰除去が必要な者	0名
25	胃ろう造設者	2名

5. 入所者・退所者の状況

当施設へ入所された方（24名）の待機場所について、自宅10名、医療機関10名、介護老人保健施設3名、有料老人ホーム等が1名となっています。

（1）一番町への入居者（3名）

NO	入所日	氏名	性別	保険者	待機場所
1	H30年 4月20日	K. T	女	掛川市	自宅
2	6月22日	A. Y	女	掛川市	自宅
3	8月10日	T. O	男	掛川市	自宅
4	H31年 1月22日	S. M	女	掛川市	自宅

（2）二番町への入居者（13名）

NO	入所日	氏名	性別	保険者	待機場所
1	H30年 4月20日	Y. Y	女	掛川市	自宅
2	4月23日	K. K	女	掛川市	医療機関
3	6月14日	K. U	女	掛川市	医療機関
4	6月18日	K. N	男	掛川市	医療機関
5	7月11日	M. M	男	掛川市	自宅
6	8月23日	M. S	女	掛川市	介護老人保健施設
7	9月03日	M. Y	女	掛川市	自宅
8	10月09日	S. S	男	掛川市	自宅
9	11月05日	T. M	女	掛川市	有料老人ホーム
10	11月06日	H. M	女	掛川市	医療機関
11	11月20日	H. M	女	掛川市	医療機関
12	12月03日	M. S	男	掛川市	自宅
13	H31年 2月12日	M. S	男	菊川市	介護老人保健施設

（3）三番町への入居者（7名）

NO	入所日	氏名	性別	保険者	待機場所
1	H30年 4月24日	S. I	女	掛川市	医療機関
2	6月15日	M. R	女	掛川市	医療機関
3	7月31日	H. K	女	掛川市	介護老人保健施設
4	8月27日	T. O	女	掛川市	医療機関
5	10月22日	Y. K	女	掛川市	医療機関
6	11月08日	M. T	女	袋井市	医療機関
7	H31年 3月06日	T. Y	女	掛川市	自宅

（4）退所者の状況

当施設を退所された方は31名と前年度に比べ減少しています。退所の主な理由は、入院先で死亡された方が14名と最も多く、次いで、医療的な対応が必要となり医療機関へ移られた方が13名、搬送先で死亡された方が2名、他施設へ移られた方が1名、在宅へ戻られた方が1名の順となっています。

(4) 退所者の状況 (31名)

NO	退所日	氏名	性別	在籍期間	退所理由
1	4月10日	K. S	女	約2年2ヵ月	医療的な対応が必要となる
2	4月16日	R. N	女	約3年6ヵ月	医療的な対応が必要となる
3	4月18日	M. M	女	約3年9ヵ月	入院先にて死去
4	5月01日	N. M	女	約6年2ヵ月	医療的な対応が必要となる
5	5月09日	M. S	女	約5年5ヵ月	入院先で死去
6	6月04日	H. W	女	約11年1ヵ月	入院先で死去
7	6月18日	E. K	男	約11ヵ月	入院先で死去
8	6月30日	F. K	女	約3年3ヵ月	医療的な対応が必要となる
9	7月13日	S. M	男	約5年	医療的な対応が必要となる
10	7月14日	Y. Y	女	約3ヵ月	他施設へ入所
11	8月09日	M. T	女	約1年5ヵ月	入院先で死去
12	8月10日	K. S	女	約10年4ヵ月	医療的な対応が必要となる
13	8月16日	K. S	女	約6年6ヵ月	医療的な対応が必要となる
14	8月18日	A. Y	女	約2ヵ月	入院先で死去
15	9月14日	S. I	女	約1年3ヵ月	搬送先で死去
16	10月23日	T. O	女	約11ヵ月	医療的な対応が必要となる
17	10月31日	M. Y	女	約2ヵ月	入院先で死去
18	11月03日	S. Y	女	約7年6ヵ月	入院先で死去
19	12月18日	T. M	女	約1年4ヵ月	入院先で死去
20	12月24日	K. K	女	約8ヵ月	入院先で死去
21	12月25日	A. W	女	約5年9ヵ月	搬送先で死去
22	12月28日	K. U	女	約6ヵ月	医療的な対応が必要となる
23	1月07日	S. K	女	約10ヵ月	医療的な対応が必要となる
24	1月10日	M. S	男	約1ヵ月	在宅へ復帰
25	1月10日	S. I	男	約1年2ヵ月	入院先で死去
26	1月20日	H. M	男	約10ヵ月	入院先で死去
27	1月25日	Y. S	女	約11年9ヵ月	医療的な対応が必要となる
28	1月26日	T. H	男	約11ヵ月	医療的な対応が必要となる
29	2月20日	M. M	男	約7ヵ月	入院先で死去
30	3月16日	M. Y	女	約11年10ヵ月	入院先で死去
31	3月31日	K. S	女	約1年1ヵ月	医療的な対応が必要となる

6. 家庭との連携

ご家族の皆様には、ご入居様の状態把握が出来るよう連絡を取り、必要に応じ状況確認をお願いしています。今後は、誕生会や外出ハイクの行事等へもご家族様にも参加して頂き、家族との絆をより深めていきたいと考えています。

昨年度の年間面会者数は4238名となっています。

面会状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
人数	355名	365名	374名	397名	413名	315名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	332名	304名	405名	421名	206名	321名

7. 利用料金

施設入居に際し、負担する利用料金は原則として1割負担となります。下記の通り、利用料金を徴収させていただきます。

【平成30年4月改定】

特別養護老人ホーム 掛川福祉ノ郷 利用料金表〔1日あたり〕

◆基本利用料【介護サービス費】（注1）

※要介護度の区分により負担金額が異なります。

基本利用料 （介護サービス費）	要介護 1	636単位	要介護 4	843単位
	要介護 2	703単位	要介護 5	910単位
	要介護 3	776単位		

◆加算項目（注1）

加算項目	単位数	加算条件
初期加算	30単位	入所日から30日間について加算。
栄養マネジメント加算	14単位	医師、管理栄養士等が共同して入所者個々の栄養状態を把握して、栄養ケア計画を作成に基づく栄養管理、定期的な評価・記録等を行った場合。
精神科医療療養指導加算	5単位	精神科医師による定期的な療養指導を月に2回以上行った場合。
看護体制加算Ⅰ	4単位	常勤の看護師を1名以上配置している場合。
看護体制加算Ⅱ	8単位	24時間の連絡体制を確保している。
サービス提供体制強化加算	6単位	研修等を実施しており、かつ、次のいずれかに該当する場合。 ① 介護福祉士が50%以上配置されている。 ② 常勤職員が75%以上配置されている。 ③ 3年以上の勤続年数のある者が30%以上配置されている。
若年性認知症入所者受入加算	120単位	65歳以下の若年性認知症利用者を受け入れた場合。（※該当者のみ負担）
介護職員処遇改善加算	5.9%	基本利用料+加算項目に6.0%を乗じた金額
地域加算	10.14%	

◆食費（注2）

※食費の料金に関しては、所得段階により負担金額が異なります。

食費	第1段階 生活保護受給者の方等	300円
	第2段階 市民税非課税世帯、課税年金収入が80万円以下の方	390円
	第3段階 "、第2段階以外の方	650円
	第4段階 市民税課税世帯の方	1,380円

◆居住費【ユニット型個室料金】（注2.3） ※居住費の料金に関しては、所得段階により負担金額が異なります。

居住費	第1段階 生活保護受給者の方等	820円
	第2段階 市民税非課税世帯、課税年金収入が80万円以下の方	820円
	第3段階 "、第2段階以外の方	1,310円
	第4段階 市民税課税世帯の方	1,970円

その他の料金	入所者の日常生活上 必要な諸費用については 実費をご負担いただきます。
--------	-------------------------------------

（注1）基本利用料及び加算項目の金額は、1単位あたり10.14円を乗じた金額の1割となります。

（注2）食費及び居住費の費用について、①負担限度額認定を受けている場合には、認定証に記載されている負担限度額と致します。社会福祉法人等利用者負担軽減対象確認証の交付を受けている場合には、確認証に記載されている減額割合により減額いたします。なお、負担限度額認定証・社会福祉法人等利用者負担軽減対象確認証の提示がない場合は、第4段階として取り扱いさせていただきます。

（注3）居住費の費用について、入院中であっても居室を確保している場合には、居住費1,970円をご負担頂きます。また、負担限度額認定を受けている方は、生活保護受給者を除き段階に関係なく、一律定額（居住費1,970円）を徴収させていただきます。

平成30年度短期入所者生活介護（ショートステイ）事業報告

1. 目的

ご利用者様が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、ご利用者様に対し、入浴・排泄・食事等の介護、その他の日常生活上のお世話及び機能訓練を行うことにより、ご利用者様の心身の機能を維持し、ご家族様の身体的、精神的負担の軽減を図ります。また、各種レクリエーションの実施により、楽しい雰囲気の中で、介護サービスを提供できるように努めていきます。

2. 対象者

介護認定を受けている者であって、身体上又は精神上的の障害がある為に家族等の介護を要して日常生活を営んでいる者を利用対象者とする。

3. 運営の方針

- ・介護認定を受けている者で利用申込みに応じて対応し、寝たきり老人等の介護を本人（家族）のニーズに合わせた内容で行う。
- ・介護老人福祉施設の入所者と区別する事なく、介護、養護を充分行い対象者、家族等が安心して利用できるようなサービス内容とする。
- ・地域や家族との連携を取り適切な介護サービスや対応を図って行く。

4. 短期入所介護の定員 20名（1ユニット10名×2）

5. ショートステイ利用者数

掛川市立総合病院跡地に、特養、老健、療養型の3施設が新規オープンし、市内の事業所では利用者確保が難しい状況となっています。各施設が特色を打ち出し、稼働率のアップを図っているため、これまで以上に基本的サービスの充実に努め、特色であるレクリエーション活動や個別対応の充実に努めていきたい。

区分	日平均利用者数	利用総人数	平均稼働率	区分	日平均利用者数	利用総人数	平均稼働率
4月	11.1人	333人	56%	10月	13.5人	419人	68%
5月	10.5人	326人	53%	11月	11.8人	354人	59%
6月	11.7人	351人	59%	12月	10.6人	329人	53%
7月	11.2人	347人	56%	1月	12.5人	388人	63%
8月	14.5人	450人	73%	2月	11.0人	308人	55%
9月	12.6人	378人	63%	3月	11.8人	366人	59%
年平均	11.9人	4,349人	60.0%				

6. 利用料金

短期入所介護の提供に際し、負担する利用料金は原則として基本料金の1割です。但し、介護保険の給付の範囲を超えた部分のサービスについては全額負担となります。

短期入所生活介護 掛川福祉ノ郷 利用料金表〔1日あたり〕

◆基本利用料【介護サービス費】(注1)

※要介護度の区分により負担金額が異なります。

基本利用料 〔介護サービス費〕	要介護 1	682単位	要介護 4	889単位
	要介護 2	749単位	要介護 5	956単位
	要介護 3	822単位		

◆加算項目(注1)

加算項目	単位数	加算条件
サービス提供体制 強化加算 I 1	18単位	研修等を実施しており、かつ、次のいずれかに該当する場合。 ①介護福祉士が60%以上配置されている。 ②常勤職員が75%以上配置されている。 ③3年以上の勤続年数のある者が30%以上配置されている。
若年性認知症入所者受入加算	120単位	65歳以下の若年性認知症利用者を受け入れた場合。(※該当者のみ)
送迎加算(片道)	184単位	希望者にて、施設で送迎を行なった場合のみ負担
介護職員処遇改善加算	6.0%	基本利用料+加算項目に5.9%を乗じた金額

◆食費(注2)

※食費の料金に関しては、所得段階により負担金額が異なります。

食費	第1段階 生活保護受給者の方等	300円
	第2段階 市民税非課税世帯、課税年金収入が80万円以下の方	390円
	第3段階 "、第2段階以外の方	650円
	第4段階 市民税課税世帯の方	1,380円

◆居住費【ユニット型個室料金】(注2)

※居住費の料金に関しては、所得段階により負担金額が異なります。

居住費	第1段階 生活保護受給者の方等	820円
	第2段階 市民税非課税世帯、課税年金収入が80万円以下の方	820円
	第3段階 "、第2段階以外の方	1,310円
	第4段階 市民税課税世帯の方	1,800円

その他の料金	入所者の日常生活上 必要な諸費用については 実費をご負担いただきます。
--------	-------------------------------------

(注1) 基本利用料及び加算項目の金額は、1単位あたり10.14円を乗じた金額の1割となります。

(注2) 食費及び居住費の費用について、①負担限度額認定を受けている場合には、認定証に記載されている負担限度額と致します。社会福祉法人等利用者負担軽減対象確認証の交付を受けている場合には、確認証に記載されている減額割合により減額いたします。なお、負担限度額認定証・社会福祉法人等利用者負担軽減対象確認証の提示がない場合は、第4段階として取り扱いさせていただきます。

平成30年度 デイサービスなゆた浜北事業報告

1 施設の概要

- (1) 施設種別 デイサービスなゆた浜北
- (2) 事業目的 在宅虚弱老人の自立生活への助長、社会的孤独感の解消、心身機能の維持向上を図るとともに家族の身体的、精神的な労苦の軽減を図る。
- (3) 所在地 浜松市浜北区貴布祢 3000 番地 なゆた・浜北 2 階
- (4) 開設 平成 15 年 6 月 1 日
- (5) 定員 18 名 (月～金) 18 名 土、日曜日は休業
- (6) 職員配置状況

平成 31 年 3 月 31 日現在

デイサービスなゆた浜北	
職 種	現 員
管 理 者	1 【1】
相 談 員	1
看 護 師	0 (2)
介 護 職 員	2
運 転 手	0
計	3 (2)

【】 兼任 () 非常勤再掲

生活指導

① 給食

一人暮らしや、家族があっても孤食という環境の利用者も多く、なじみの方とお話をしながら食事を楽しんでいただくことを第一に、利用者の配席に気を配った。

毎日、利用者と同じ物を職員が試食し、安全であるか、盛り付け、味付け、調理法、素材の使い方が高齢者にあっているかなどの観点でチェックし、利用者の声もあわせ検査表に記載した。調理業者にも毎日連絡し、連携しながら利用者の嗜好にあった献立の提供に努めた。調理業者は1社と多喜の栄養科とで交代（週単位）で製造している。

利用者の体調等により要望があれば、粥、刻み食への変更にも応じた。利用者の健康状態にあわせ、主食、副食の提供量も加減した。摂取量は記録に残し、必要に応じて家族に報告をするようにした。食事介助は個々の意思を尊重し、方法等を確認しながら援助した。食事時の事故（誤嚥、やけど等）が起きないように見守り職員を配置し、注意を徹底した。

利用者に料理の美味しい状態で召し上がっていただけるよう、上げ膳後直ちに配膳を開始し、飯、汁物は施設内で盛り付けている。配膳時は、衛生に十分注意し、手洗い、消毒の徹底を図った。

利用者にも食事前には手洗いを促し、消毒用アルコールで手指の消毒をしてもらった。

② 入浴

浴室、脱衣所内での転倒、やけど等の事故防止と個々のニーズにあった援助を行うために職員の配置は脱衣室に一人、浴室に一人配置した。

ADLにおいて比較的自立されている利用者が多いが、年々レベルが低下し、介助が必要な利用者も増えている。更衣、洗身等個人のニーズにあった介助を行った。プライバシーに配慮し、個浴の利点を生かしたゆったりと家庭的な入浴ができるようにした為希望者が多く増加している。使用されるタオルもこちらで用意させてもらっている。着替え（下着等）を持参されるかたもあり、個々のニーズに対応している。入浴時は全身状態の観察を行い、異常があれば家族、ケアマネージャーに連絡した。塗布薬等持参された方には、主治医、ご家族の指示のもと看護師が対応した。入浴、着脱動作の評価を行い、当事業所の入浴設備利用に問題が生じてきたときは、今後の対応をご本人、ご家族、ケアマネージャーと相談している。

③ 日常動作訓練

トイレや浴室、席への移動、排泄動作、食事等、生活リハビリを個々のニーズにあった方法で行った。

午前の活動は主に「フリー選択レクリエーション」を提供した。「フリー選択レクリエーション」は、長期にわたってその方のペースに合わせて継続できる創作活動（貼り絵）と季節にあった（ぬり絵）、歌好きの方の（歌謡）、そして馴染みの方々と（トランプ、かるた、パズル）テーブルゲームを楽しんでいただいた。食事前の誤嚥予防として嚥下体操も実施した。

午後の活動は、毛筆・カレンダー・創作や「選択レクリエーション」（ゲームや創作など）、「脳トレ」（算数・国語・脳トレパズル）などの、個人の興味や、意思決定を尊重した選択できるものを提供した。個々のレベルの違いなど、個別の対応ができるため今後も継続して行く。

なじみの方々とにぎやかに行うイベント型レクリエーションとして「季節レクリエーション」も毎月行った。4月は「花見」5月「端午の節句」など、その月のテーマにそった内容で行った。

提供時間の延長に伴い、毎日16:00分から「介護予防体操」も実施した。その後は、脳トレ、しりとり、歌などで楽しんでいただけるように提供させていただいた。

毎月1回（第一火曜日）は、ボランティア講座で「折り紙作り」を行いました。季節に合った題材で、先生に教えて頂き1時間程行いました。手先を使う事で脳の活性化につながるため次年度も継続して行く。

個別機能訓練（運動器機能向上訓練）への対応も行った。看護師が担当し、利用者、ご家族、ケアマネージャー、主治医等から要望があった利用者に対して、アセスメントを行い、個別の計画を作成、実地している。評価は毎月実施し3ヶ月ごとにケアマネージャーに報告を行っている。訓練メニューは、ご自宅でも継続できるよう簡単なものを工夫している。歩行が不安定な利用者が訓練により下肢筋力がつき歩行が長続きできるようになったなどの結果がでている。

④ 養護

利用者の身体及び精神、他者との関わり等の状況を職員全員で把握し、常に連絡報告、情報交換に努めた。利用者に対して、職員全員統一した援助を徹底した。援助方法は、ケアマネ、家族と連携しながら利用者個々のニーズにあった方法で援助した。利用者の体調変化に注意し、安静に出来る場の確保、体調に応じて車イスの利用等の対応をした。

⑤ 送迎

送迎車への乗降時や車内での事故、及び交通事故が起きないように注意を徹底した。地下駐車場からデイルーム、デイルームから地下駐車場への移動時必ず職員2人を配置し、危険物への声かけ、歩行が不安定な利用者への介助など今まで以上に安全対策に努めた。移動距離が長く、利用者レベルも年々下がってくるため、事故がおきるリスクは高い。リスク回避のために屋外は車イスを使用することも多くなり、地下Pからデイルームまで移動介助に職員が往復するなど業務量も増えている。

平成24年以降、サービス提供時間の変更により、職員の勤務体制が、早番と日勤の交代制で行っている。

職員の休みなどで送迎職員がたりない時は、多喜の園本部の応援をお願いした。終了時間が16:40で、冬季には日没となるため、送迎全般に危険が増え、今まで以上に安全運転に努めなければならない。

乗車中の利用者の状態にも気を配り送迎した。「手から手へ」を基本に、在宅の家庭では確実に家族へ引き渡すことを徹底した。送迎時の家族とのコミュニケーションも大切にし、デイや家庭での様子の連絡、報告がスムーズに行われるよう配慮した。

なゆた・浜北内の催しに伴い、尚かつ区役所移転が重なって人の出入りがあり地下駐車場からの出庫に時間がかかることもあり、帰宅が大幅に遅れることがある。

⑥ 健康チェック

デイ到着後、毎回看護師が問診、血圧測定、必要に応じて体温測定を行った。1ヶ月毎に体重測定を全員実施している。入浴後、活動中も観察を行い、利用者の体調変化に対応した。与薬は利用者ニーズにより、看護師が行い、薬の変化への対応として必ず飲んでる薬の処方箋等を確認し、飲み忘れ等のないように管理した。体調変化や異常の発見に努め、何かあれば家族やケアマネに連絡するなど早急な対応に心がけた。

感染委員とも連携し、施設内の感染予防対策にも努めた。

⑦ 介護予防

「日常生活上の基本動作がほぼ自立し、状態の維持改善の可能性の高い」軽度者の状態に即した自立支援、個々の目標とする生活の実現のためのサービス提供を行った。

活動プログラムに対して、活発さや高度な内容を希望される方が多く、それに対応するようプログラム内容も吟味して行った

介護予防サービスにも、運動器機能向上加算への対象者があり、看護師の担当で、個別にアセスメント、計画、実施、評価の流れで実施している。

日課 職員の動き

	日 課	職 員 の 動 き
8 : 00	利用者迎え (送迎車 1 台)	・ 早番職員出勤 ・ 送迎準備
8 : 15	利用者迎え (送迎車 2 台)	・ 送迎出発 ・ 日勤職員出勤 送迎準備
9 : 00	利用者到着 健康チェック	・ 送迎出発 活動準備 ・ 看護師出勤 業務準備
9 : 30	開始の挨拶 水分補給	・ 利用者迎え (地下) 移動介助 ・ 血圧測定 体調確認 (看護師)
9 : 50	入浴開始	・ 挨拶 お茶だし ・ 職員申し送り
10 : 15	活動開始 (選択活動など)	・ トイレ誘導 移動介助 着脱介助 入浴介助 整髪
11 : 20	嚙下体操 トイレ誘導	・ 活動介助 利用者把握
40	上膳	・ トイレ誘導 利用者把握
12 : 00	昼食 個別口腔ケア 与薬 休憩	・ 昼食準備 (盛り付け 配膳) ・ 食事介助 利用者把握 記録記入 ・ 服薬管理 (看護師) 口腔ケア介助 ・ 職員昼食 (交代)
13 : 30	ラジオ体操 トイレ誘導	・ 下膳 手帳記録、活動準備
13 : 50	活動開始 (選択活動、脳トレ 季節レクなど)	・ 活動介助 トイレ誘導
15 : 10	水分補給 おやつ	・ 活動介助 利用者把握
16 : 00	介護予防体操 脳トレ 歌	・ お茶 おやつだし 送迎車準備
16 : 40	終了挨拶 地下駐車場へ移動	・ 活動介助 ・ 帰宅準備
17 : 00	送迎出発 送迎車 3 台	・ 挨拶 次回の予定の案内 ・ 移動介助
30	送迎終了	・ 見送り 送迎出発 ・ 清掃 日報記入 ・ 日勤送迎終了 ・ 業務終了 戸締まり

月	活 動	内 容
4 月	誕生会 フリー選択レクリエーション 歌レクリエーション 季節レクリエーション 選択レクレーション ボランティア講座（折り紙作り） 活動	貼り絵 塗り絵 歌謡 ゲーム 季節の歌 カーネーション作り 方言ゲーム 輪投げ 折り紙 毛筆 硬筆 カレンダー 創作 脳トレ
5 月	誕生会 フリー選択レクリエーション 歌レクリエーション 季節レクリエーション 選択レクリエーション ボランティア講座（折り紙作り） 活動	貼り絵 パズル 歌謡 ゲーム 季節の歌 川中島の合戦 かしわ餅づくり 折り紙 毛筆 硬筆 カレンダー 創作 魚釣りゲーム
6 月	誕生会 フリー選択レクリエーション 歌レクリエーション 季節レクリエーション 選択レクリエーション ボランティア講座（折り紙作り） 活動	貼り絵 塗り絵 歌謡 ゲーム 季節の歌 七夕飾り しりとりゲーム 折り紙 毛筆 硬筆 カレンダー 創作 脳トレ 輸送りゲーム
7 月	誕生会 フリー選択レクリエーション 歌レクリエーション 季節レクリエーション ボランティア講座（折り紙作り） 活動 お菓子作り	貼り絵 塗り絵 歌謡 短冊作り 季節の歌 七夕会 ボランティア慰問 折り紙 毛筆 硬筆 カレンダー 創作 カード倒しゲーム

月	活 動	内 容
8 月	誕生会 フリー選択レクリエーション 歌レクリエーション 季節レクリエーション 選択レクレーション 活動 ボランティア講座（折り紙作り）	貼り絵 塗り絵 歌謡 祭り準備 季節の歌 夏祭り 輪投げ ペットボトル倒しゲーム 毛筆 硬筆 カレンダー 創作 折り紙
9 月	誕生会 フリー選択レクリエーション 歌レクリエーション 敬老会 スポーツレクリエーション ボランティア講座（折り紙作り） 活動	貼り絵 塗り絵 歌謡 ゲーム 季節の歌 楽器演奏 ボランティア慰問 輪投げ 折り紙 毛筆 硬筆 カレンダー 創作 脳トレ おはぎ作り
10 月	誕生会 フリー選択レクリエーション 歌レクリエーション 運動会 選択レクリエーション ボランティア講座（折り紙作り） 活動	貼り絵 塗り絵 歌謡 ゲーム 季節の歌 玉いれ パン食い競走 バスケット作り 新聞玉入れゲーム 折り紙 毛筆 硬筆 カレンダー 創作 脳トレ
11 月	誕生会 防災訓練 フリー選択レクリエーション 歌レクリエーション 秋のお菓子作り 選択レクリエーション ボランティア講座（折り紙作り） 活動 曜日対抗レクリエーション	貼り絵 塗り絵 歌謡 ゲーム 季節の歌 楽器演奏 輪投げ 折り紙 毛筆 硬筆 カレンダー 創作

月	活 動	内 容
12 月	誕生会 フリー選択レクリエーション 歌レクリエーション 季節レクリエーション 創作活動 ボランティア講座（折り紙作り） 活動 選択レクリエーション	貼り絵 塗り絵 歌謡 クリスマス飾り 草笛の会 クリスマス会 正月飾り作り 折り紙 毛筆 硬筆 カレンダー 創作 ビンゴゲーム
1 月	誕生会 フリー選択レクリエーション 歌レクリエーション 季節レクリエーション 選択レクリエーション ボランティア講座（折り紙作り） 活動	貼り絵 塗り絵 歌謡 双六ジャンケンゲーム お汁粉作り オカリナ演奏 ハーモニカ演奏 折り紙 毛筆 硬筆 カレンダー 創作 脳トレ
2 月	誕生会 フリー選択レクリエーション 歌レクリエーション 季節レクリエーション ボランティア講座(折り紙作り) 活動 チャレンジ大会	貼り絵 塗り絵 歌謡 ゲーム 季節の歌 節分ゲーム 豆まき オカリナ演奏 ハーモニカ演奏 折り紙 毛筆 硬筆 カレンダー 創作
3 月	誕生会 フリー選択レクリエーション 歌レクリエーション 季節レクリエーション スポーツレクリエーション お楽しみ企画 ボランティア講座（折り紙作り） 活動 春のお菓子作り	貼り絵 塗り絵 歌謡 ゲーム オカリナ演奏 紙風船割りゲーム チューリップ作り／手芸 オカリナ演奏 ハーモニカ演奏 折り紙 毛筆、硬筆 カレンダー 創作 ぼた餅

- ・ 職員全員による毎朝の挨拶は、身近な出来事、ニュース、季節の話題等から始め、本日の活動予定を伝えた。
- ・ 午前に入浴希望の方は入浴、希望されない方及び入浴が終わった方は、フリー選択レクリエーションなどで自由に過ごしていただいた。活動内容は、ぬり絵、貼り絵、歌謡、ゲームを行い特に貼り絵は、長期にわたり下絵からご自分で書き仕上げて頂きました。また、食事前の誤嚥予防として嚥下体操も実施した。
- ・ 午後の活動は、毛筆、硬筆、カレンダー作り、創作 選択レク（グループゲーム、創作活動、お菓子作りなど）、ボランティアによる講座（折り紙作り）、季節レク（正月ゲーム、七夕まつりなど）、脳トレ（算数、国語、脳トレパズルなど）を行った。
- ・ 誕生会は、第3週か第4週目に実施した。誕生者の写真と季節にあった飾り付けをし写真をケースの中に入れてプレゼントとし、利用者同士のお祝いの言葉でお祝いをした。

- ・ 夏祭りでは、昨年同様、各種ゲーム屋台、盆踊り、ゲーム等で祭りの雰囲気を味わっていただいた。
- ・ 敬老会やイベント行事では、多数のボランティア慰問の協力をいただいた。
- ・ 毎月発行している活動予定表は職員が担当している。
- ・ ボランティア講座で、毎月1回「折り紙作り」を行った。1時間程おこない、季節にあった題材で先生に教えて頂き、みなさん四苦八苦しなから作りあげお持ち帰りしました。
- ・ 今年度の活動は、選択できる活動のなかで、その人らしさを大切にした活動を提供し、ご本人の興味やレベルの違いなどに対応した。
- ・ 毛筆／硬筆に加え、細筆（ペン習字）を新たな活動に取り入れた。
- ・ おやつ時間を少し多めにとり、好きな飲み物を選んでもらい、職員とまたは利用者さん同士のコミュニケーション、意見・要望など伺う機会を作りました。

利用状況

- ・ 1日の利用平均人数は12人 1ヶ月の実人数平均は26人だった。
- ・ 介護予防サービス利用者は平成31年3月で3人である。
- ・ 各加算の利用者は、平成30年3月現在で個別機能訓練加算8名、運動器機能向上加算（予防）3名、1日平均約4名の実施者がある。看護師1名がそれに専任している。
- ・ レベルの低下や、家庭の事情により他のサービスに変更する方が増えた。その反面新規のご利用者がないため利用者人数が減少している。介護度別では要介護1、2の人が多く、介護4、5は無くなった。
- ・ 当デイのハード面に限界があるため、介護度が増すことで他のサービスに移行していくことは避けられないが、今後も介護度の低い方の受け入れを獲得していけるよう、特色のある活動の導入、サービス内容の充実をより一層考えていかなければいけない。近辺に新規開業の事業所も増え、競争が激しくなっている。職員一人一人が自分の問題として自覚し、業務に取り組むことも大切である。
- ・ 今年度は大きな事故もなく、ヒヤリハットなども減少している。来年度も一層利用者の安全に注意し、来たときよりも生き生きとして帰ることができるように業務に取り組む。今後も指導的立場の方々、法人本部の管理、指導をよろしく願いいたします。

平成 30 年度短期入所生活介護多喜の園ステイハウス中瀬事業報告書

1、短期入所生活介護の運営の方針

要介護（要支援）状態になった場合においても、その利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、入浴・排泄・食事等の介護、その他日常生活上の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身の機能の維持並びに利用者の家族の身体的及び精神的負担の軽減を図るものとする。

2、重点目標

イ 定期利用の促進

介護者の身体的、精神的負担の軽減を図る上から、定期利用の促進に力を入れる。

ロ 認知症ケア等介護技術の向上

施設内外の研修や勉強会を定期的実施することにより、認知症ケアをはじめ介護技術の向上に努め、質の高いサービスの提供につなげる。

ハ 自立支援と事故防止の推進

利用者の残存機能に着目し、それを活かす環境調整等を通じて、利用者の自立支援と事故防止に努め、生活の質の向上を目指す。

ニ 法人内外の他事業所との連携強化

ケアマネージャー及び、介護サービス提供事業所との情報の共有を密にし、利用者の生活全般を考えた、適切な介護サービスを提供することで、在宅生活の継続性の確保に努める。

3、委員会活動

特別養護老人ホーム多喜の園と同様

4、年間研修

特別養護老人ホーム多喜の園と同様

5、年間行事

夏祭り・運動会・敬老会・クリスマス会・節分・ひな祭り等や、近隣の保育園と連携を図った慰問や、ボランティアによるハーモニカ・草笛演奏等を行いました。

6、対象者

介護認定の申請をし、介護認定結果が要支援 1、2 又は要介護 1～5 の者であること。

7、定員

30名

8、利用料

① 基本料

区分	利用料
要支援 1	465 単位/日
要支援 2	577 単位/日
要介護 1	625 単位/日
要介護 2	693 単位/日
要介護 3	763 単位/日
要介護 4	831 単位/日
要介護 5	897 単位/日

② 加算料

送迎加算	片道 184 単位/日 往復 368 単位/日
看護体制加算 I	4 単位/日
サービス提供体制強化加算 II	6 単位/日
介護職員処遇改善加算 I	一月の総単位数×6.0%
若年性認知症利用者受入加算	120 単位/日 (該当者のみ)

③ 保険外料金

食費	1,380 円/日
滞在費	840 円/日

9、利用状況

月別利用者数

	利用実人数	利用延べ人数	1日当たり利用人数
4月	43人	715人	23.8人
5月	50人	721人	23.3人
6月	46人	629人	20.2人
7月	53人	673人	21.7人
8月	55人	752人	24.3人
9月	49人	566人	18.9人
10月	51人	673人	22.4人
11月	46人	649人	21.6人
12月	42人	660人	21.3人
1月	42人	600人	19.4人
2月	41人	555人	19.8人
3月	45人	641人	20.7人
計	563人	7,834人	21.5人

10、総括

平成26年4月1日に開設し、はや5年。さらなる利用者増加を目標に掲げて従事させていただき、多くの事業所のケアマネージャーにもご協力いただきましたが、利用者様の特養等の入所の決定や病院への入院、感染症の流行等、定期利用の方の出入りも激しく、特に9月と冬場はなかなか安定しない利用状況となりました。

今年度も、稼働率の向上を念頭に利用者様の様々なニーズにお応えし、また利用したいと思っていただける施設を目指したいと思います。

平成 30 年度 社会福祉法人 大善福祉会

介護老人保健施設あらたま

事業報告書

※平成 30 年 10 月～平成 31 年 3 月

【1】 施設概要

- (1) 運営主体 社会福祉法人 大善福社会
- (2) 開設 平成 30 年 10 月 1 日
- (3) 所在地 静岡県浜松市浜北区宮口 3152 番地
- (4) 協力病院 医療法人社団大法会 遠江病院

【2】 基本方針

- (1) 介護老人保健施設として地域の方々が安心して過ごしていただける様、地域包括ケアの中核的拠点としてのサービス提供に努めます。
- (2) 大善福社会の理念に基づき、日々変化するご利用者のニーズに応えることができるよう、入所受入も柔軟に行うように努め、行政、地域ネットワーク、関連事業者や法人内施設間の連携を図り、より良いサービスの提供を行うとともに。安心して住み慣れた地域で過ごしていただける様に介護保険サービスの提供を行います。
- (3) 社会福祉法人の施設として法令を遵守するとともに、そのための体制や方法を確立し、安定した財務基盤を積極的に展開していきます。
- (4) 社会福祉法人の施設独自の地域貢献活動を積極的に展開していきます。

【3】 目標と計画

- (1) ご利用者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で生活することができるよう包括的な支援・サービス提供体制の構築を目指しています。
- (2) 地域や福祉関係機関等の開催する交流会に参画し連携を強化します。
- (3) ご利用者、ご家族の気持ちに寄り添い誠実な対応を心掛けます。
- (4) ご入所者の生活の質の向上のためにも、余暇活動や行事の充実を行うと同時に普段の生活においても個々のニーズに合わせた対応を行える環境作りや業務改善を行います。

【4】 事業内容と目的

(1) 介護保健施設サービス（長期入所）

介護保険法に基づき、要介護と認定された方が、可能な限り居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援するとともに、その方の居宅における生活への復帰を目指すことを目的とします。

(2) 短期入所療養介護事業（介護予防事業を含む）

介護保険法に基づき、要支援または要介護と認定された方が、可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう支援するとともに、その家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ることを目的とします。

(3) 通所リハビリテーション事業（介護予防事業を含む）

介護保険法に基づき、要支援または要介護と認定された方が、可能な限り居宅において、有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、理学療法士、作業療法士、その他必要なりハビリテーションを行うことにより、利用者の心身の機能の維持回復を図ることを目的とします。

(4) 居宅介護支援事業所

介護保険法に基づき、要支援または要介護と認定された方が、可能な限りその居宅において、継続して生活が送れるよう、ご利用者やご家族の気持ちに寄り添いながら、誠実な対応を心がけてサービス計画を作成します。家庭や地域のなかに生じる課題の把握や地域の福祉関連機関との連携の強化に努めてまいります。

【5】 定員

- (1) 介護保健施設サービス（短期入所療養介護、介護予防短期入所療養介護を含む）

80人

- (2) 通所リハビリテーション（介護予防通所リハビリテーションを含む）

20人/日

- (3) 居宅介護支援事業所

35件/月

【6】 事業実績

《入所サービス》

1. 利用率（平均値）

10月	11月	12月	1月	2月	3月
72%	75%	79%	78%	80%	81%

2. 要介護度状況（平成31年3月31日時点）

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
17名	14名	7名	19名	5名

平均介護度：2.7

3. 年齢層と男女比（平成31年3月31日時点）

	60～	65～	70～	75～	80～	85～	90～	95～	100	合計
	64	69	74	79	84	89	94	99	～	
男性	1	2	4	0	0	3	4	5	0	19
女性	0	0	0	2	3	11	15	10	2	43

4. 無料又は低額介護老人保健施設利用事業

〔概要〕

社会福祉法第2条3項第10号の規定に基づき、経済的理由により施設に入所することが困難な方々に対して、安心して良質なサービスを受けていただくために、施設利用料等を無料又は低額でご利用していただく事業を展開します。このような方々に対して、積極的に情報の提供を行い、手を差し延べ相談に乗り、必要な介護を受けやすい環境を整えてまいります。

1) 利用料の減免を受けられる方は

介護老人保健施設に入所を希望している方で、生活保護法による保護を受けている方や低所得の方など経済的理由により施設利用料の支払いが困難な方が対象になります。

2) 費用の減免額について

無料又は介護老人保健施設サービス費に要した費用（食費・居住費・室料差額・日用品費等を含む）の10%以上

〔実績〕（平成31年3月時点）

- ・ 対象者9名に対し実施している（全体の14%）

5. 利用者に対する日常生活支援

（ア）排泄支援

利用者の尊厳、プライバシーに配慮した支援を行っている。身体状況（認知機能含む）に応じ、声掛け・誘導・トイレ介助・ポータブルトイレの使用・オムツでの対応・留置カテーテルの管理など、適切な排泄方法を選択し支援を行っている。

（イ）入浴

事前にバイタルチェックを実施し、体調に留意しながら入浴の支援を行っている。清拭・一般浴・機械浴（座浴又は寝浴）など状態に応じた適切な方法を選択して支援している。また全身状態チェックの重要な機会と位置付けている。

（ウ）食事

医師の指示、及び管理栄養士による栄養ケアマネジメントに基づき提供している。嚥下機能に応じた食事形態での提供、また疾病の状況に応じた減塩食の提供などを行いながら、各利用者の状況に応じて、見守りや声掛け、適宜介助を行っている。また、食事は栄養補給であると同時に「楽しみの1つ」であるという視点を大事にしている。

（エ）衛生

洗面・整容：必要に応じて介助・声掛けを行っている。

口腔ケア：毎食後に実施。必要に応じて、声掛けや誘導、介助を行っている。義歯は毎晩洗浄剤による洗浄を実施している。

寝具：週1回を目途に実施している。失禁などで汚れた場合は適宜交換している。

6. 利用者の健康管理

- ・ 看護師によるバイタルチェックを行っている。
- ・ 定期的に医師が診察を行っている。
- ・ 月1回の体重測定を実施している。
- ・ 医師・看護師による内服薬の管理を行っている。
- ・ 年1回の定期採血検査を実施している。また必要に応じ適宜実施している。
- ・ 必要に応じ訪問歯科診療を依頼している。
- ・ 必要に応じ、医療機関への受診対応を行っている。

7. リハビリテーションの提供

リハビリテーション計画書に基づき、個別リハビリを週2回実施している。また、集団体操、集団起立訓練を日々行っている。生活そのものがリハビリになる「生活リハビリ」の視点を取り入れ、自身ができることはなるべく自身で行い、心身機能の維持を図っていただいている。

8. 趣味活動・レクリエーションの提供

- ・フロアごとに利用者の希望に沿った活動（塗り絵、はり絵、編み物、縫い物、計算問題、クロスワードパズル、カラオケ、音楽鑑賞、歌唱、等）を行っている。
- ・フロアごとにクリスマス会、節分、カラオケ大会などの行事を実施している。
- ・定期的におやつ作りを実施している。

9. 職員の安全・衛生

(ア) 安全衛生委員会を設け、月1回の会議を実施している。

(イ) 職員の健康診断を、夜勤業務従事者は年2回、その他職員は年1回実施している。

10. 地域貢献活動

地元の幼稚園、小学校、中学校の職業体験学習や福祉体験学習などの受け入れをしている。

11. 防災対策

- ・防災対策委員会を設置している。
- ・年2回の総合防災訓練を実施している。

12. 委員会活動

委員会名称	主な検討事項	開催日
業務連絡会	・部門間情報交換	毎月第1木曜
入退所判定委員会	・入所希望者の審査 ・退所継続の審査 ・短期入所希望者の審査	毎週木曜
安全衛生委員会	・健康診断の実施と評価 ・職員の健康障害の防止と対策 ・健康の増進	毎月第1木曜
感染予防対策委員会	・感染予防対策の検討収集 ・職員研修の計画実施	偶数月の第4月曜
事故対策委員会	・事故報告書の分析と対策 ・対策の実施と評価	奇数月の第2火曜
防災対策委員会	・防災訓練の企画実施 ・防災情報の収集と徹底	半年に1度
給食委員会	・献立や給食状況について	毎月第3火曜
ケアプラン策定委員会	・ケアプランの策定 ・モニタリング ・サービス担当者会議の開催	随時
褥瘡予防対策委員会	・褥瘡予防計画の作成 ・計画の実践及び評価	奇数月の第4月曜
身体拘束廃止委員会	・身体拘束廃止への改善計画作成 ・職員研修の	毎月第2月曜
行事委員会	・納涼祭等の施設行事の計画立案	適時

13. 総括

平成 30 年 10 月より社会福祉法人大善福祉会の一員となり半年が経過しました。社会福祉法人の施設として、社会から求められる役割を果たせるよう奔走してきた半年でした。法人内で唯一の介護老人保健施設として、その果たすべき役割と強みを理解したうえで、法人内施設間の連携も少しずつ図れるようになってきたと考えています。今後の課題としては「より安定した財務基盤の構築」を実現し、持続可能なサービスの提供体制を維持していくことと考えています。

《短期入所療養介護》

1. 利用状況

	利用実人数	延べ日数
10月	3名	9日
11月	4名	17日
12月	4名	23日
1月	3名	19日
2月	3名	29日
3月	3名	31日

2. 要介護度

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
1名	3名	1名	1名	0名

3. 利用者に対する日常生活支援

- ・ 基本的に入所サービスと同様

4. 利用者の健康管理

- ・ 看護師によるバイタルチェックを実施している
- ・ 必要時、医師が診察している
- ・ 医師、看護師による内服管理を行っている
- ・ 体調悪化時など必要に応じ、ご家族その他関係機関に連絡をとっている。

5. リハビリテーションの実施

- ・ 基本的に入所サービスと同様

6. 趣味活動・レクリエーションの提供

- ・ 基本的に入所サービスと同様

7. 職員の安全・衛生

- ・ 入所サービスと同様

8. 防災対策

- ・ 入所サービスと同様

9. 委員会活動

- ・ 入所サービスと同様

10. 総括

平成 30 年 10 月より、社会福祉法人大善福祉会の一員となりました。あらたま短期入所療養介護（介護予防含む）は、介護老人保健施設入所サービスの空床利用という形でサービスの提供を行っています。俗に「ショートステイ」と言われるサービスの中でも老健の提供する「短期入所療養介護」に求められる役割には、代わりの利かない理由があることが多いだけに、可能な限りスピーディで柔軟な対応を心がけています。私どもが提供するサービスは地域包括ケアシステムにおける重要な構成要素の 1 つであることを理解し、今後もより満足度の高いサービスの提供をしていきたいと考えています。

《通所リハビリテーション》

1. 利用者数

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
実人数	19名	18名	18名	21名	19名	18名
延べ人数	187名	166名	153名	147名	154名	158名
1日平均	8.2名	7.5名	7.7名	7.4名	7.7名	7.5名

2. 要介護度状況（平成31年3月時点）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
3名	1名	7名	5名	2名	0名	0名

3. 年齢層と男女比

	60～ 64	65～ 69	70～ 74	75～ 79	80～ 84	85～ 89	90～ 94	95～ 99	100 ～	合計
男性	0	0	1	1	4	2	1	0	0	9
女性	0	1	0	0	3	3	3	0	0	9

4. 利用者に対する日常生活支援

(ア) 排泄支援

利用者の尊厳、プライバシーに配慮し、身体状況に応じた適切な排泄方法にて対応している。

(イ) 入浴

ケアプランに基づき、対象者に対し実施している。事前にバイタルチェックを実施し体調に留意しながら、清拭・一般浴・機械浴など適切な方法を選択し実施している。また全身チェックの重要な機会と位置付けている。

(ウ) 食事

嚥下機能に応じた食事形態にて提供している。また疾病状況に応じた減塩食の提供も行っている。身体状況に応じて適宜介助を行っている。栄養補給であると同時に「楽しみの1つ」であるという視点を大切にしている。

(エ) 衛生

昼食後に口腔ケアを行っている。身体状況に応じて声掛け、誘導、介助を行っている。

5. 利用者の健康管理

- ・ バイタルチェックを行っている。
- ・ 希望者には定期的に医師が診察を行っている。その他必要時には適宜診察を行っている。
- ・ 内服薬の管理を行っている。
- ・ 体調悪化時など必要に応じ、ご家族その他関係機関に連絡をとっている。

6. リハビリテーションの提供

- ・ リハビリテーション計画書に基づき、全ての利用者に対し個別のリハビリテーションを実施している。また、集団体操、集団起立訓練などを日々行っている。

7. 趣味活動・レクリエーションの提供

- ・ 利用者の希望に沿って、塗り絵・貼り絵・編み物・縫い物・計算問題・パズル・音楽鑑賞・歌唱などを個別に行っている。
- ・ 毎日集団レクリエーションを実施している。
- ・ 毎月「あらたま喫茶」と銘打ち利用者ごとに好みの飲み物を提供し談笑する場を設けている。
- ・ 毎月おやつ作りを実施している。
- ・ 毎月リラックス入浴を実施している。
- ・ 利用者の誕生月には誕生会を実施している。
- ・ 10月に屋外歩行訓練、12月にクリスマス会、1月に新年会、2月豆まき会、3が鶺ひな祭など、季節に応じたイベントを開催した。

8. 職員の安全・衛生

- ・ 入所サービスと同様

9. 地域貢献活動

- ・ 入所サービスと同様

10. 防災対策

- ・ 基本的に入所サービスと同様

11. 委員会活動

- ・ 入所サービスと同様

12. 総括

平成30年10月より社会福祉法人大善福社会の一員となりました。可能な限り住み慣れた場所での生活を継続するという地域包括ケアの考え方の中で、私たち「通所リハビリテーション」の果たすべき役割は大きいと考えています。その役割を安定的に果たしていくことができるよう、より安定した財務基盤の構築が今後の課題になると思っています。利用者満足度の高いサービスの提供を心掛け、それが安定した財務基盤の確保につながるという好循環を作り出せるよう今後も精進していきたいと考えています。

平成 30 年度 居宅介護支援事業所あらたま 事業報告書

1. 事業の目的 要介護者・要支援者及び事業対象者である利用者に対し、個々の解決すべき課題その心身の状況や置かれている環境等に応じて、保健、医療、福祉にわたる指定居宅サービス等が、総合的かつ効率的に提供されるように努める。
2. 運営方針
 - (1) 要介護状態となった場合においても、その利用者が可能な限り、その居宅において、その有する能力に応じ、自立した日常生活を営む事が出来るように配慮して行う。
 - (2) 利用者の選択に基づき、適切な保健医療サービス及び福祉サービスが総合的かつ効率的に提供されるように配慮して行う。
 - (3) 利用者の意思及び人格を尊重し、常に利用者の立場にたって利用者提供される指定居宅サービス等が特定の種類又は特定の居宅サービス事業者に不当に偏することのないよう、公正中立に行う。
 - (4) 市町村、地域包括支援センター、他の指定居宅支援事業者、介護保険施設、医療機関等との連携に努める。
3. 事業内容
 - (1) 利用者の要介護認定に係る申請について、利用者が希望する場合は、申請の代行等必要な援助を行った。
 - (2) 利用者の心身の状況、その置かれている環境、利用者及びその家族の希望等を考慮して、居宅サービス計画を作成した。
 - (3) 居宅サービス計画作成後も計画の実施状況の把握（モニタリング）に努め、全利用者宅へ毎月 1 回以上の訪問を行った。更新時及び必要時にはサービス担当者会議を開き、居宅サービス計画の見直し・検討・変更等を行った。また、サービス事業者との連絡調整及び利用者へ便宜の提供を行った。
 - (4) 利用者が介護保険施設等への入院又は入所を希望する場合には紹介及び利用者へ便宜の提供を行った。
4. まとめ 本年度は、介護支援専門員 1 名体制（常勤）で業務を遂行してきた。その為、新規利用者の獲得はなかった。利用者は年間を通し、15 名前後で推移した。今後は、職員の増員を図り、地域包括支援センター・各医療機関・介護保険事業所との連携及び民生委員等、地域との連携の強化を行い、新規利用者を獲得していく。